

令和3年度 業務実績報告書

令和4年6月



地方独立行政法人
岐阜県立多治見病院

I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員状況 令和3年4月1日現在

	氏名	役職
理事長	近藤 泰三	院長
副理事長	後藤 賢也	副院長兼事務局長
理事	竹田 明宏	副院長兼産婦人科統括部長
理事	梶川 真樹	副院長兼外科統括部長
理事	日比野 剛	副院長兼内科統括部長
理事	東 智美	副院長兼看護部長
理事	加藤 智子	ヤマカ株式会社代表取締役
理事	村瀬 登志夫	元多治見市教育委員会教育長
監事	小島 浩一	弁護士
監事	木村 太哉	公認会計士

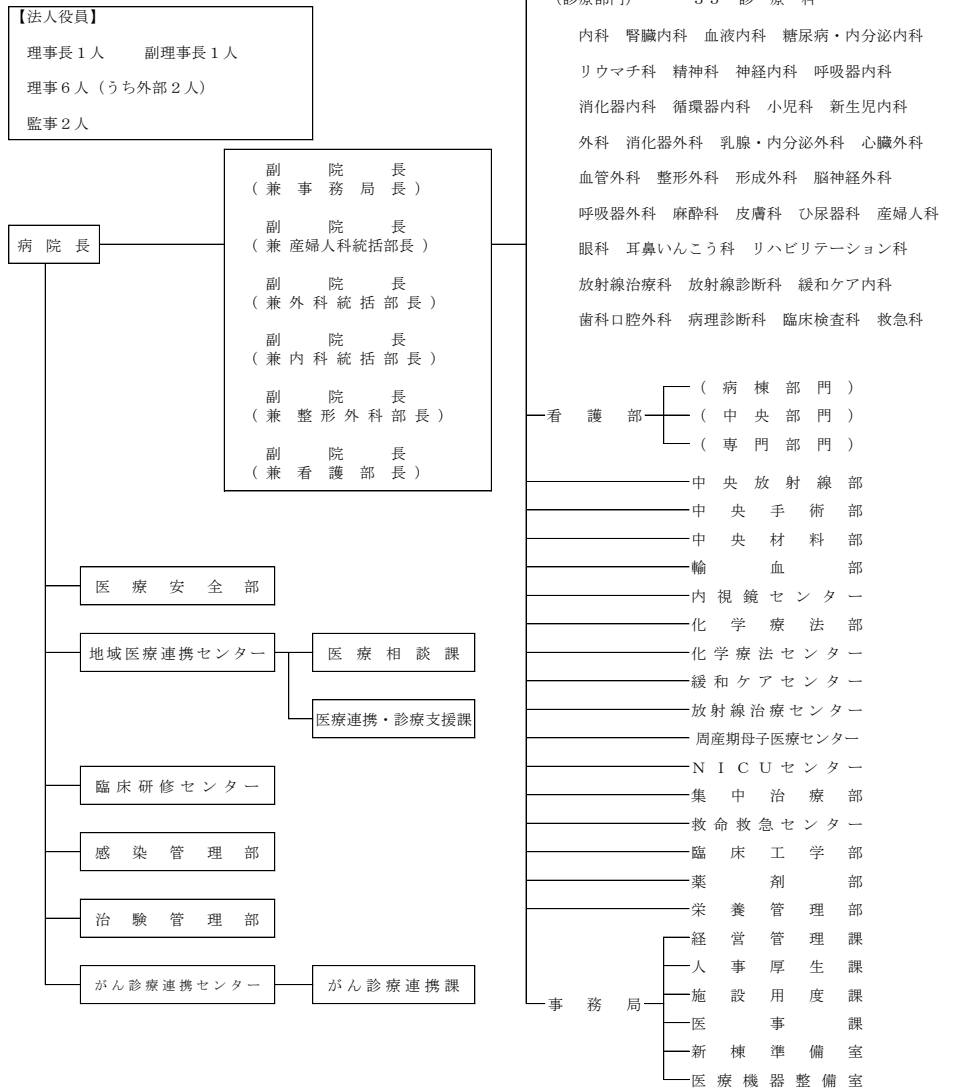
(5) 職員数(令和3年4月1日現在)

単位:人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	164	1	165
看護師	505	186	691
コメディカル	200	22	222
事務等	63	124	187
合計	932	333	1,265

(6) 組織図

令和3年4月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）は、平成22年度の設定以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、東濃圏域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

平成27年度から令和元年度までの第2期中期目標期間においては、地方独立行政法人制度の特徴を生かした病院経営をしながらより質の高い医療サービスの提供に努め、高精度放射線治療装置の充実による先進的かつ効果的な治療の実施、院内保育施設の移転新築による職員の就労環境の整備、経常収支比率100%以上を達成するなど着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、少子高齢化が進行し、2025年には全ての団塊世代が75歳以上となることから、将来あるべき医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を通じて、地域における医療や介護を確保するため、県では、地域医療構想を策定し、医療機能の分化や地域の医療機関の連携を推進している。

このため、第3期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第2期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自主性・効率性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の中核病院として、政策医療を担う等重要な役割を果たすとともに、地域医療構想を踏まえた医療の提供、地域の医療機関への支援等により、地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

◆中央診療棟の建替えの推進

昭和56年及び59年に建てられた中央診療棟は30年以上を経過し、外来患者の増加による外来部門の狭益化や手術室・カテーテル治療室の不足、設備（上水道など）老朽化などが深刻となっており、また災害時の診療機能にも不安が大きいため、早急な対応が求められる。

地域の基幹病院として県民・地域住民に引き続き適切な医療環境を提供するため、中央診療棟の再整備を図る必要があり、平成27年度に基本構想を、平成28年度に基本計画を、平成30年6月に基本設計、令和元年8月に実施設計を策定し、令和3年7月に業者の入札、9月には建設工事に着手した。今後は、令和6年度の開院に向けて進めていく。

◆病床機能報告

県では、2次医療圏ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の分化と連携を適切に推進するための地域医療構想が策定された。

当院においても、当院の医療機能（高度急性期、急性期、慢性期）について病棟単位で現状と今後のあり方を検討し、東濃圏域における地域医療構想の具現化に参画する。

3 設置する病院の概要

- (1) 病院名称 岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地

(3) 沿革

年	月	概要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和56年	11月	診療本館（現 中央診療棟）一期工事完成
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）二期工事完成
昭和63年	12月	MR I棟完成
平成2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver. 5.0)の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	1月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver. 6.0)の認定取得
〃	5月	精神科病棟46床開設（再開）
平成25年	4月	高精度放射線治療センター稼働
平成28年	3月	卒後臨床研修評価機構の認定取得
〃	11月	病床数を575床へ変更（一般病床52床廃止）
平成29年	3月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG:ver1.1)の認定取得
〃	4月	血液浄化センター稼働
平成30年	6月	自治体立優良病院総務大臣表彰受賞
平成31年	3月	新保育施設開設
令和2年	4月	病床数を570床へ変更（一般病床1床・精神科病床4床廃止）
令和4年	3月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG:ver2.0)の認定取得

(4) その他

基本理念	安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。
主な役割及び機能	東濃医療圏における基幹病院として、高度先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療の提供
重点医療	救急医療 / 周産期医療 / がん医療 / 精神科医療・感染症医療 / 緩和ケア / レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実
診療科目	内科 腎臓内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 リウマチ科 精神科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 新生児内科 外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 心臓外科 血管外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 麻酔科 皮膚科 ひ尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線治療科 放射線診断科 緩和ケア内科 歯科口腔外科 病理診断科 臨床検査科 救急科
病床数	570床（一般509床：結核13床：精神42床：感染症6床）
年間延べ患者数 (令和3年度)	入院 : 159,465人 外来 : 258,490人

Ⅱ 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう病床機能や規模、医療需要などの将来予測を踏まえながら診療事業を推進した。

より質の高い医療の提供のために、新中央診療棟の整備、高度医療機器の計画的な整備、必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、チーム医療の推進、ICT（情報通信技術）の活用、入退院支援の充実、医療安全対策や院内感染防止対策の充実を図った。

患者・住民サービスの向上については、施設改修や患者給食の向上による院内環境の整備や、よろず相談、がん相談等の実施による相談体制の充実、診察から支払いまでの患者待ち時間の短縮等を実施した。また、患者や周辺住民からの病院運営に関する意見を反映する場として、地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、委員らとの意見交換を行った。

診療体制の充実については、地域医療連携センター（前方連携・後方連携）が中心となって開業医、連携病院への積極的な訪問活動を実施した。医療相談においては、入院前の患者に対する支援件数が大幅に増加した。また、連携推進協議会等の開催を通じて、地域の医療機関と情報交換を行い、医療ニーズの把握に努めた。

地域医療支援病院として、訪問活動を通じて近隣医療機関との役割分担の明確化と連携強化を図っており、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持した。（紹介率72.8%、逆紹介率97.4%）

重点的に取り組む医療として、がん医療においては、引き続き高精度放射線治療装置の2台体制により、根治照射・予防照射・緩和照射等正確で質の高い放射線治療を提供した。救急医療においては、多治見市民病院との間で病院間専用回線を設置し、地域の救急医療の効率化と両病院の連携強化を目的に、運用を開始した。また、新型コロナウイルス感染が拡大する中、結核病床を利用して受け入れ体制を整え、地域の保健所と協力しながら、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行った。

1-2 調査研究事業

臨床共同研究については、関連大学等からの依頼に積極的に取り組んだ。

診療に関する情報は分析・集計した上で一元的に管理し、必要な情報が適時に提供できる体制の下、経営改善への指標となる数値が管理会議や各種委員会に報告、周知された。

「Q I 事業」には引き続き参加し、データの提出後、フィードバックされたベンチマーク結果を院内に周知した。また、DPCデータや各種情報システムを活用し、診療報酬委員会での分析、及び各部門への診療情報の提供を行った。

1-3 教育研修事業

内科領域、外科領域及び精神科領域においては、専攻医の専門研修プログラムの基幹施設として専攻医を募集し、内科領域で5名、外科領域で2名を採用した。

医学部生、看護学生等の実習を積極的に受け入れるなど、医療従事者の育成に努めた。また、救急救命士に対しては、病院実習の実施のほか、救急入院後の事後検証会を定期的に開催するなど医療技術の向上を支援した。

県立多治見看護専門学校に対しては、当院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し看護師養成を支援した。

1-4 地域支援事業

開業医への訪問活動を通じて、高度医療機器や開放型病床の共同利用の促進を図るとともに、国民健康保険上矢作病院、土岐市立総合病院へ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。

地域全体の医療水準の向上を目的に、近隣の病院や施設等へ医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。また、近隣の教育機関からコメディカル実習生の受け入れも行った。

新型コロナウイルス感染拡大に際しては、東濃地域の医療機関や高齢者施設への感染予防対策支援を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症患者宿泊療養施設やワクチン接種会場へ看護師を派遣し、地域医療を支援した。

病院広報誌「けんびょういん」をリニューアルし、より手に取りやすく、分かりやすい紙面にしたほか、地域情報誌へ医療情報を提供し、積極的に情報を発信した。

1-5 災害等発生時における医療救護

災害発生時には立体駐車場を活用することを考慮し、東側立体駐車場、及び西側立体駐車場においてWi-Fiを使用できるようにした。

新中央診療棟の建設においては、災害発生時においても診療継続可能な機能（強固なインフラ整備、浸水防止機能、防災ヘリポート等）を備えるべく、工事を発注した。

診療情報のバックアップについては、マルウェア対策として世代別のデータ保存を行う方向でベンダーと契約する見込みとなった。

新型コロナウイルス感染拡大に際しては、マニュアルの整備や必要な物資等の備蓄のほか、感染防止対策地域連携病院として、他施設や開業医に対し、情報共有や感染対策の支援を実施した。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

看護師を採用し、人員の不足している手術部、救急救命センターを中心に補充した。診療部門においては、医師事務作業補助者、看護助手、介護福祉士の採用を進め、効果的な医療の提供に努めた。

ICT（情報通信技術）の活用においては、AI問診システムを令和3年12月から導入した。また、診察窓口においてはオンライン資格認証システムを導入し、マイナンバーカード認証機3台を利用しながら、患者の確認を実施した。

診療報酬については、DPCコーディング業務を病院職員で行い、診療内容や副傷病などを細かく点検することによって、より適切なコーディングを実施する体制とした。

収支の改善に向けては、請求事務の一本化及び診療材料費の削減を図るため、令和4年度からの診療材料の共同購入開始に向け、業務支援の契約を締結した。また、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、外科、整形外科、泌尿器科の8診療科について外部業者の支援を受けながら、試行的に原価計算を実施した。

収入の確保においては、医療相談担当と医事担当が連携し、診療の初期段階から患者の状況に応じた制度の適用等について積極的に介入する等により、未収金発生 の未然防止に取り組んだ。

費用については、医薬品の価格交渉による費用削減や、後発医薬品の使用率を高水準（90.62%）で維持すること等により、節減に努めた。

3 予算、収支計画及び資金計画

[収益] 入院診療単価及び外来診療単価が昨年度比で増、新規入院患者数と外来患者数ともに増となり、昨年度と比べ医療収益において8.5%の増となった。収益全体でも、入院収益等の増により5.9%（11.6億円）の増となった。計画に比べ医療収益において6.0%の増、収益全体で8.3%（16.0億円）の増となった。

[費用] 薬品費、診療材料費の増により、昨年度と比べ医療費用で3.7%の増。費用全体では、3.5%の増となった。計画に比べ医療費用において2.2%の増、費用全体では2.0%（4.1億円）の増となった。

この結果、単年度収支は1億1千万円の赤字となり、経常収支比率も99.5%で、昨年に引き続き目標である100%以上を達成することができなかった。職員給与費対医療収益比率は、目標50%以下に対して、53.0%となった。業務の効率化や医療収益の更なる増収を目指していくことが必要である。

$$\text{経常収支比率} = (\text{営業収益} + \text{営業外収益}) \div (\text{営業費用} + \text{営業外費用}) \times 100$$

営業収益	20,746,193千円
営業外収益	97,935千円
営業費用	19,931,210千円
営業外費用	1,027,954千円

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、職員相談支援室で職員からの相談に対応するとともに、一人ひとりの時間外勤務の状況を把握し、長時間労働該当者、年休取得5日未満該当者の所属長に対しては注意喚起を行った。また、サーマルカメラを利用した顔認証による入室管理システムを導入し、時間外勤務対策として、同システムによる職員の勤怠管理に向けて準備を進めた。

福利厚生では、新型コロナウイルス感染症対策業務手当・作業手当、後方施設勤務手当等の支給を継続するほか、国の補助金を活用して看護職員処遇改善手当を新設し、看護職員のモチベーション維持に努めた。

職員の健康管理については、前期定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。また、定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示のあった職員に対するフォローアップも行い、健康管理対策の充実に努めた。

新中央診療棟整備については、建築工事、電気設備工事、空調設備工事、衛生設備工事、エレベーター設備工事の5工種で競争入札の上、それぞれ施工業者を決定し、令和3年9月に工事着工した。東側立体駐車場は令和3年5月末に完成し、6月から運用を開始した。また、病院前市道整備については、病院入口交差点から南へ部分的に歩道を整備した。

新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器については、院内の各部門とヒアリングを実施し、購入計画、資金計画を策定した。機器の購入にあたっては、過剰な整備とならないよう、現場を熟知している臨床工学部と連携し、機器整備の必要性・妥当性を確認したうえで決定した。また、複数診療科による医療機器の共同利用を推進することで、現有機器の有効活用を図った。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	IV	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	IV	
1-1-3 診療体制の充実	03	III	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	IV	
1-1-5 重点的に取組む医療	05	IV	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	III	
1-2-2 診療情報等の活用	07	III	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	III	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	IV	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	III	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	IV	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	III	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	IV	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	III	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実	15	IV	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	IV	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 組織体制の充実	17	IV	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	18	III	
2-1-3 人事評価システムの運用	19	III	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	20	IV	
2-1-5 コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底	21	IV	
2-1-6 適切な情報管理	22	III	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	23	III	
2-2-2 収入の確保	24	IV	
2-2-3 費用の削減	25	III	
3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画	26	II	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	27	IV	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	28	III	
8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	29	IV	
8-4 内部統制の充実強化	30	III	
8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	31	III	
8-6 年度計画における主な計画数値	32	III	
8-7 積立金の使途	33	III	

IV 財務情報及び人員に関する情報

指 標	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
経常収益 (千円)	18,175,978	18,824,930	19,022,733	19,606,644	20,844,128
経常費用 (千円)	17,821,770	18,788,919	19,921,438	20,195,136	20,959,164
経常利益 (千円)	354,208	36,011	△898,705	△588,492	△115,036
従事人員数 (人)	1,108	1,166	1,242	1,287	1,265

V 項目別の状況

主な指標 (3 予算 (人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画)								
指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	
								経常収支比率
医業収支比率	100%を超過	96.7%	102.3%	99.8%	96.7%	91.3%	95.5%	
職員給与費対医業収支比率	50%未満	54.4%	51.0%	52.5%	54.4%	58.0%	53.0%	

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期 目標	<p>1-1 診療事業 東濃圏域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度急性期医療、急性期医療、先進医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、チーム医療に貢献できる専門性を持った医療スタッフの確保や医師のタスク・シフティング（業務の移管）に資する特定行為を実施できる看護師の育成及び各職種の教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、チーム医療やクリニカルパスの推進、入退院支援の充実、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）などの活用を努めること。 さらに、院内感染予防、医療事故防止等医療安全対策を徹底し、安全・安心な医療と治療環境の提供に努めること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めるとともに、患者満足度調査の実施等により満足度の向上を図ること。 また、病院運営について、ホームページなどを通じて積極的に情報発信するとともに、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p>
----------	--

<p>※ 診療体制の充実 医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 医療保険者による糖尿病の重症化予防や脳卒中、心臓病その他の循環器病の予防等の取組を推進すること。 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリニカルパスやICT（情報通信技術）の活用などにより地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて東濃圏域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、地域医療支援病院として、紹介率・逆紹介率の維持・向上に努めること。 さらに、円滑に在宅医療・介護へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療 高度急性期医療、急性期医療、先進医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救急医療」、「周産期医療」、「がん医療」などの高度で先進的な医療及び「精神科医療」、「感染症医療」などの政策医療を重点医療として位置付け、提供すること。 救急医療については、地域の医療機関等との連携の推進や新中央診療棟の整備に伴う高度な医療の提供等により、東濃圏域の中核病院として重症救急患者への対応を強化すること。 がん医療については、新たに整備した高精度放射線治療装置などによる治療に加え、患者の就労も含めた相談支援の充実を図るなど、拠点病院としての機能を強化すること。また、地域の医療機関等との連携の強化や、緩和ケアを提供できる人材の育成・確保等により、緩和ケア病棟と在宅での一貫した緩和ケアが受けられる体制の充実を図ること。 また、新中央診療棟整備に合わせて、レスパイトケア（障がい児を在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス）のための短期入所機能の整備をすること。</p>

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																						
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進</p>	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器について、院内の各部門とヒアリングを実施し、購入計画、資金計画の更新を行った。 高度医療機器のうち特に老朽化が激しく診療に支障をきたすと思われる医療機器を中心に整備を行った。 <p>【更新・整備した主な機器】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備目的・用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MRI 撮影装置 (3.0T)</td> <td>強力な磁石を用いた撮影装置で、放射線を使わず磁石と電磁場の力を利用して身体の臓器や血管を様々な断面で撮影する。</td> </tr> <tr> <td>PET-CT 撮影装置</td> <td>放射性医薬品 (FDG) を投与し、その体内分布を画像化することにより、腫瘍の大きさや場所の特定、良性・悪性の区別、転移状況や治療効果の判定などを行う。</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	整備目的・用途	MRI 撮影装置 (3.0T)	強力な磁石を用いた撮影装置で、放射線を使わず磁石と電磁場の力を利用して身体の臓器や血管を様々な断面で撮影する。	PET-CT 撮影装置	放射性医薬品 (FDG) を投与し、その体内分布を画像化することにより、腫瘍の大きさや場所の特定、良性・悪性の区別、転移状況や治療効果の判定などを行う。	<p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き国、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行った。 <p>【資格取得・認定及び学会研修会等の参加状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目 職種</th> <th colspan="5">資格取得・認定件数(件)</th> <th colspan="5">学会研修会等 延べ参加者数(人)</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">薬剤師</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">8</td> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">9</td> <td>参加</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>70</td> <td>42</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線技師</td> <td rowspan="2">7</td> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">8</td> <td>参加</td> <td>312</td> <td>314</td> <td>251</td> <td>213</td> <td>307</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>25</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>5</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨床検査技師</td> <td rowspan="2">9</td> <td rowspan="2">9</td> <td rowspan="2">7</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">3</td> <td>参加</td> <td>33</td> <td>42</td> <td>38</td> <td>9</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨床工学技士</td> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2">2</td> <td>参加</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">リハビリ技士</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">19</td> <td rowspan="2">20</td> <td rowspan="2">22</td> <td>参加</td> <td>12</td> <td>60</td> <td>90</td> <td>19</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目 職種	資格取得・認定件数(件)					学会研修会等 延べ参加者数(人)					H29	H30	R1	R2	R3	区分	H29	H30	R1	R2	R3	薬剤師	1	3	8	6	9	参加	64	64	70	42	74	発表	8	9	5	2	2	放射線技師	7	6	6	3	8	参加	312	314	251	213	307	発表	25	20	19	5	20	臨床検査技師	9	9	7	2	3	参加	33	42	38	9	28	発表	2	2	4	0	0	臨床工学技士	4	1	3	4	2	参加	26	25	16	6	22	発表	7	3	1	0	0	リハビリ技士	2	3	19	20	22	参加	12	60	90	19	41	発表	4	4	8	0	1	IV	高度医療機器の整備や医療従事者の確保と養成、特に認定看護師の養成において成果があり、加えて積極的な入退院支援の実績を評価
機器名	整備目的・用途																																																																																																																										
MRI 撮影装置 (3.0T)	強力な磁石を用いた撮影装置で、放射線を使わず磁石と電磁場の力を利用して身体の臓器や血管を様々な断面で撮影する。																																																																																																																										
PET-CT 撮影装置	放射性医薬品 (FDG) を投与し、その体内分布を画像化することにより、腫瘍の大きさや場所の特定、良性・悪性の区別、転移状況や治療効果の判定などを行う。																																																																																																																										
項目 職種	資格取得・認定件数(件)					学会研修会等 延べ参加者数(人)																																																																																																																					
	H29	H30	R1	R2	R3	区分	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																
薬剤師	1	3	8	6	9	参加	64	64	70	42	74																																																																																																																
						発表	8	9	5	2	2																																																																																																																
放射線技師	7	6	6	3	8	参加	312	314	251	213	307																																																																																																																
						発表	25	20	19	5	20																																																																																																																
臨床検査技師	9	9	7	2	3	参加	33	42	38	9	28																																																																																																																
						発表	2	2	4	0	0																																																																																																																
臨床工学技士	4	1	3	4	2	参加	26	25	16	6	22																																																																																																																
						発表	7	3	1	0	0																																																																																																																
リハビリ技士	2	3	19	20	22	参加	12	60	90	19	41																																																																																																																
						発表	4	4	8	0	1																																																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																												
5	コメディカルに対する専門研修の実施	<table border="1"> <tr> <td>人工心肺装置</td> <td>主に心臓外科手術中の生命維持に使用する。</td> </tr> <tr> <td>低温蒸気ホルムアルデヒド(LTSF)滅菌装置</td> <td>低温蒸気ホルムアルデヒドを用いて、手術器具等の滅菌に使用する。</td> </tr> </table>	人工心肺装置	主に心臓外科手術中の生命維持に使用する。	低温蒸気ホルムアルデヒド(LTSF)滅菌装置	低温蒸気ホルムアルデヒドを用いて、手術器具等の滅菌に使用する。	<table border="1"> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>参加発表</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>45</td> <td>35</td> <td>44</td> <td>参加発表</td> <td>451</td> <td>515</td> <td>477</td> <td>290</td> <td>473</td> </tr> </table>	管理栄養士	2	2	2	0	0	参加発表	4	10	12	1	1	合計	25	24	45	35	44	参加発表	451	515	477	290	473		
人工心肺装置	主に心臓外科手術中の生命維持に使用する。																																
低温蒸気ホルムアルデヒド(LTSF)滅菌装置	低温蒸気ホルムアルデヒドを用いて、手術器具等の滅菌に使用する。																																
管理栄養士	2	2	2	0	0	参加発表	4	10	12	1	1																						
合計	25	24	45	35	44	参加発表	451	515	477	290	473																						
6	専門性を発揮したチーム医療の推進																																
7	ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)等の活用	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 中途採用の常勤医師を13名採用し、医師数は5名増となった。 福利厚生対策として、院内保育施設にて、夜間保育・休日保育・病児保育を実施した。夜間保育(木曜日)利用者数は延べ19人、病児保育利用者数は延べ53人、休日保育実施日数は106日。 <p>【医療従事者数】 単位：人 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>123</td> <td>126</td> <td>136</td> <td>151</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>472</td> <td>484</td> <td>476</td> <td>490</td> <td>477</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>167</td> <td>173</td> <td>185</td> <td>199</td> <td>199</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	医師	123	126	136	151	156	看護師・助産師	472	484	476	490	477	コメディカル	167	173	185	199	199							
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																												
医師	123	126	136	151	156																												
看護師・助産師	472	484	476	490	477																												
コメディカル	167	173	185	199	199																												
8	入院支援の充実																																
9	医療事故防止等医療安全対策の充実																																
10	院内感染防止対策の充実	<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による講演・勉強会を実施した。(計20回開催) 岐阜県医師確保育成コンソーシアムが岐阜大学で開催する臨床研修指導医講習会に上級医2名が参加した。 内科専攻研修プログラムの基幹施設として、公立陶生病院内科専門研修プログラムと合同で症例検討会を実施した。(7月・1月開催) <p>4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「心不全看護認定看護師教育課程」及び「特定行為：外科術後病棟管理パッケージ」を修了したことにより、新たに2名が特定行為研修修了者となり、特定行為研修修了者は計3名となった。 そのうち1名は「心不全看護認定看護師」資格も取得した。「認知症看護認定看護師」資格も新たに1名が取得し、令和3年度末時点で在籍する専門看護師は4名、認定看護師は25名(2名増)となった。 	<p>10 院内感染防止対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染防止委員会を毎月開催し、感染の発生状況や感染対策活動の報告をし、注意喚起、感染対策の周知徹底を継続した。また、電子カルテの掲示板や院内メールを活用し、職員へ注意喚起、感染対策の周知徹底を行った。 毎週、院内分離菌情報をもとにリスク評価を行いICTラウンドを実施した。その指導結果を、感染対策委員会及び看護部感染対策委員会、必要に応じて看護委員会においてフィードバックした。 アウトブレイクを防ぐため、病棟に介入し感染対策を強化した。 AST/ICT通信を適宜発行し感染対策に対する職員の意識を高めた。 11月、3月に感染対策講演会を実施した。(参加率90%以上) 職域接種についても推進した。 新型コロナウイルス感染症対策のため、ラウンドを継続するとともに、定期的に職員へ情報発信を行った。また、新型コロナウイルス感染症に対しても職員の意識、知識を深めるため、stopコロナ通信により情報提供を行った。ワクチン接種についてもメール等で情報提供し、接種を推奨している。職域接種等も呼びかけ、多くの職員についてワクチン接種を計画し、実施した。 <p>【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ(開催日)</th> <th>参加数</th> <th>参加率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「新型コロナウイルス感染症の現状と対策」 「抗菌薬適正使用について～急性下痢症～当院での現状」(11月)</td> <td>1,202</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>「感染対策の概論②感染経路と感染経路別予防策」 「抗菌薬を大事に使おうAMRに立ち向かうために③」(3月)</td> <td>1,031</td> <td>89</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ(開催日)	参加数	参加率(%)	「新型コロナウイルス感染症の現状と対策」 「抗菌薬適正使用について～急性下痢症～当院での現状」(11月)	1,202	98	「感染対策の概論②感染経路と感染経路別予防策」 「抗菌薬を大事に使おうAMRに立ち向かうために③」(3月)	1,031	89																					
テーマ(開催日)	参加数	参加率(%)																															
「新型コロナウイルス感染症の現状と対策」 「抗菌薬適正使用について～急性下痢症～当院での現状」(11月)	1,202	98																															
「感染対策の概論②感染経路と感染経路別予防策」 「抗菌薬を大事に使おうAMRに立ち向かうために③」(3月)	1,031	89																															

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																									
		<p>【認定看護師・専門看護師数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分野</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="17">認定</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>訪問看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>手術看護</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>透析看護</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>心不全看護</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>がん看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>急性・救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT（感染防止対策チーム）、NST（栄養サポートチーム）やRST（呼吸ケアサポートチーム）、精神科リエゾンチーム、褥瘡対策チーム、PCT（緩和ケアチーム）、糖尿病チームなどの活動の要となる専門、認定看護師の活動時間確保等を行い、チーム活動支援を継続している。特にICTは、院内だけでなく、地域の医療機関にも新型コロナウイルス感染対策の支援を行った。 医師の負担軽減を進めるための「IV ナース（造影剤注入や抗がん剤治療時の静脈路確保）」育成の教育プログラムを開始し、看護師 11 名が 	区分	分野	H29	H30	R1	R2	R3	認定	皮膚・排泄ケア	2	3	3	3	3	集中ケア	2	2	2	2	2	緩和ケア	1	1	1	1	1	がん化学療法看護	1	2	2	3	3	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1	感染管理	3	2	2	2	2	新生児集中ケア	1	1	1	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1	救急看護	1	1	1	1	1	慢性心不全看護	1	1	1	1	1	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	1	糖尿病看護	1	1	1	2	2	認知症看護	1	1	1	1	2	訪問看護	1	1	1	1	1	手術看護	—	1	1	1	1	透析看護	—	1	1	1	1	心不全看護	—	—	—	—	1		小計	18	21	21	23	25	専門	がん看護	2	2	2	3	3	急性・救急看護	1	1	1	1	1		認定看護管理者	1	1	1	1	1			
区分	分野	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																																								
認定	皮膚・排泄ケア	2	3	3	3	3																																																																																																																																								
	集中ケア	2	2	2	2	2																																																																																																																																								
	緩和ケア	1	1	1	1	1																																																																																																																																								
	がん化学療法看護	1	2	2	3	3																																																																																																																																								
	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																								
	感染管理	3	2	2	2	2																																																																																																																																								
	新生児集中ケア	1	1	1	1	1																																																																																																																																								
	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																								
	救急看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																								
	慢性心不全看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																								
	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																								
	糖尿病看護	1	1	1	2	2																																																																																																																																								
	認知症看護	1	1	1	1	2																																																																																																																																								
	訪問看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																								
	手術看護	—	1	1	1	1																																																																																																																																								
	透析看護	—	1	1	1	1																																																																																																																																								
	心不全看護	—	—	—	—	1																																																																																																																																								
	小計	18	21	21	23	25																																																																																																																																								
専門	がん看護	2	2	2	3	3																																																																																																																																								
	急性・救急看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																								
	認定看護管理者	1	1	1	1	1																																																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																										
		<p>院内資格を取得した。入院病棟での抗がん剤治療時の静脈確保にむけて運用手順の整備を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> クリニカルパスの承認パスが147件となり、前年度より19件新規承認があった。全科平均パス使用率は、45%である。バリエーション分析については、データ収集し分析できるよう件数を集めている。 <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>呼吸器科</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>循環器科</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>137</td> <td>121</td> <td>68</td> <td>74</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>230</td> <td>223</td> <td>128</td> <td>142</td> <td>147</td> </tr> </tbody> </table> <p>【クリニカルパス利用率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46.8%</td> <td>47.5%</td> <td>46.6%</td> <td>45.3%</td> <td>45.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携システムの導入を進め、地元医師会との調整を行い、令和4年5月稼働の予定としている。 新たにWeb問診を救急外来にて実施した。 他の医療機関との情報共有のほか、各種学会、院内外の会議等のため、Webによるリモート会議を数多く実施し、運用体制を充実させることができた。 AIを使った画像診断については、運用の検討結果を踏まえ、契約締結に向けての準備を行った。 <p>8 入退院支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者総合支援センターの運営会議を毎月開催し、課題や今後の方針等について検討を進めた。入院前支援は、R3年4月に8診療科（整形外科、心臓外科、消化器外科、神経内科、口腔外科、腎臓内科、脳神経外科、耳鼻咽喉科）でスタートし、3月の年度末には20診療科まで広げた。 	診療科名\年度	H29	H30	R1	R2	R3	産婦人科	28	28	17	19	19	整形外科	14	15	12	12	12	呼吸器科	23	23	2	4	4	外科・消化器外科	15	22	12	11	13	循環器科	13	14	17	22	23	その他	137	121	68	74	76	合計	230	223	128	142	147	H29	H30	R1	R2	R3	46.8%	47.5%	46.6%	45.3%	45.0%			
診療科名\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																										
産婦人科	28	28	17	19	19																																																										
整形外科	14	15	12	12	12																																																										
呼吸器科	23	23	2	4	4																																																										
外科・消化器外科	15	22	12	11	13																																																										
循環器科	13	14	17	22	23																																																										
その他	137	121	68	74	76																																																										
合計	230	223	128	142	147																																																										
H29	H30	R1	R2	R3																																																											
46.8%	47.5%	46.6%	45.3%	45.0%																																																											

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
		<ul style="list-style-type: none"> 地域内の転院先等のうち15ヶ所を訪問し、より綿密な連携を図った。 病院や医院、施設、訪問看護ステーションとの情報共有は109ヶ所と行い、得られた情報は医療相談課内全員で共有された。 患者用説明パスは、電子カルテに登録されたパスをアレンジして作成するよう、各関連病棟に依頼した。腎臓内科が2つのパスを作成したため、現在使用している。 <p>9 医療事故防止等医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全講演会は、今年度よりeラーニングを取り入れて、全職員が視聴しその後簡単なテストを受講する形とした。 1回目の講演会は「心理的安全性」という現在医療安全にとって注目されていて、かつ必要不可欠なコミュニケーションの部分に焦点をあてた内容を、職員に伝えた。受講率は短期間であったが97%の参加があった。「心理的安全性」という言葉を初めて耳にする職員も多く、アンケートより内容的にはインパクトがあり、考えるべき課題であると職員が感じられた結果となった。 名前と生年月日など二つの識別子による患者確認をしており、重大な患者誤認によるアクシデントは起こっていない。 インシデント・アクシデント事案の収集・分析結果の検討や、公益財団法人日本医療機能評価機構等が発信する最新の医療安全に関する情報を継続的に院内配信した。 医療安全管理委員会を毎月開催し、医療安全対策について協議した。薬剤部の疑義照会についても発信した。 医療安全地域連携加算1-1、1-2施設間カンファレンスを行い、医療安全のチェックリストに沿ってお互いの取り組みを話し、評価し合った。また、各病院が抱える安全に関する課題についても共有し合い、現在取り組んでいる対策を伝え合うことで、互いに参考とし、生かすことができた。 医療安全管理者研修は3名修了した。 医療安全管理マニュアルと看護安全対策マニュアルを統一した。 <p>【インシデント・アクシデント件数】 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="479 1283 1131 1417"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>3,474</td> <td>3,344</td> <td>3,895</td> <td>4,007</td> <td>4,305</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>24</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,497</td> <td>3,371</td> <td>3,923</td> <td>4,031</td> <td>4,334</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	インシデント	3,474	3,344	3,895	4,007	4,305	アクシデント	23	27	28	24	29	合計	3,497	3,371	3,923	4,031	4,334			
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																								
インシデント	3,474	3,344	3,895	4,007	4,305																								
アクシデント	23	27	28	24	29																								
合計	3,497	3,371	3,923	4,031	4,334																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																												
		<p>【医療安全講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th> <th>参加数</th> <th>参加率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「心理的安全性」辰巳陽一先生 Eラーニングにて</td> <td>1,154</td> <td>97.1</td> </tr> <tr> <td>「生体情報モニターについて」臨床工学部技師長 高井浩司</td> <td>1,038</td> <td>83.2</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）	「心理的安全性」辰巳陽一先生 Eラーニングにて	1,154	97.1	「生体情報モニターについて」臨床工学部技師長 高井浩司	1,038	83.2																																																																						
テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）																																																																															
「心理的安全性」辰巳陽一先生 Eラーニングにて	1,154	97.1																																																																															
「生体情報モニターについて」臨床工学部技師長 高井浩司	1,038	83.2																																																																															
02	<p>※ 患者・住民サービスの向上</p> <p>1 待ち時間の改善等</p> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上</p> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <p>6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映</p>	<p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者や職員からの要望を意見箱や衛生巡視などから収集し、要望に可能な限り対応した。 患者給食の質の向上を目指し、毎食の残食調査、年6回嗜好調査で患者の満足度を調査。医師・管理栄養士及び栄養管理委員会委員による検査結果と併せて給食委託会社と協議し、献立や食材の見直しをした。 喫食量の低下した患者や低栄養の患者に介入し、食事量増加、低栄養改善を図った。 <p>【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養指導</td> <td>5,113</td> <td>4,173</td> <td>4,585</td> <td>5,317</td> <td>5,262</td> </tr> <tr> <td>栄養管理</td> <td>2,140</td> <td>3,009</td> <td>5,700</td> <td>7,439</td> <td>8,691</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>442</td> <td>488</td> <td>555</td> <td>696</td> <td>1,240</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サポートカンファレンスにおいて、127件の症例を検討した。症例をメンバー全員で検討した後、必要時に応じ、結果を各職種の責任者に直接伝え、今後のスタッフ指導及び対応策に係る検討材料とした。 よらず相談の対応件数は2,256件に及んだ。内容は直接来院が1,919件、電話対応が337件で、本人及び家族からの相談が全体の92%を占めていた。主な相談内容は、受診に関することやかかりつけ医の紹介であった。また、特に問題があると判断された事例については、患者サポートのカンファレンスで検討した。 東濃情報交換会を7月、12月、2月に東濃地域の病院施設等に勤務する職員が参加して開催し、情報交換を行った。 がんサロンの利用回数は昨年度とほぼ変わらず37件であった。 がん相談の件数は1,758件で、昨年度より55%程度増えた。 	項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3	栄養指導	5,113	4,173	4,585	5,317	5,262	栄養管理	2,140	3,009	5,700	7,439	8,691	NST介入	442	488	555	696	1,240	<p>1 待ち時間の改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携センター（前方連携・後方連携）による開業医への訪問活動の実施（15件）。診療科医師も同行し、紹介患者獲得へ向けPR活動を実施した。 各診療科や部門について、PR用パンフレットを作成・配布した。 新たな地域医療連携システムの導入を図った。 生理検査の呼出ベルシステムの新中央診療棟における導入に向け、関係業者からの情報収集を図った。 A I問診システムを12月に稼働し、救急外来において研修医等が運用を開始した。 <p>【平均待ち時間】 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17</td> <td>21</td> <td>12</td> <td>—</td> <td>19.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※待ち時間は病院全体の時間</p> <p>【CT、MRI検査件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>32,872</td> <td>34,511</td> <td>33,727</td> <td>31,307</td> <td>32,682</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>10,208</td> <td>10,766</td> <td>10,759</td> <td>9,677</td> <td>10,366</td> </tr> </tbody> </table> <p>【手術件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術室</td> <td>4,933</td> <td>4,799</td> <td>4,857</td> <td>4,185</td> <td>4,509</td> </tr> <tr> <td>中放内視鏡</td> <td>2,778</td> <td>2,858</td> <td>2,912</td> <td>2,907</td> <td>3,207</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,711</td> <td>7,657</td> <td>7,769</td> <td>7,092</td> <td>7,716</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	17	21	12	—	19.8	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	CT件数	32,872	34,511	33,727	31,307	32,682	MRI件数	10,208	10,766	10,759	9,677	10,366	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	手術室	4,933	4,799	4,857	4,185	4,509	中放内視鏡	2,778	2,858	2,912	2,907	3,207	合計	7,711	7,657	7,769	7,092	7,716	IV	医療相談を通じた患者サポートやセカンドオピニオンの充実化、治療効果を高めるための栄養指導にも積極的に取り組み、院内環境の向上に繋がった実績を評価
項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																												
栄養指導	5,113	4,173	4,585	5,317	5,262																																																																												
栄養管理	2,140	3,009	5,700	7,439	8,691																																																																												
NST介入	442	488	555	696	1,240																																																																												
H29	H30	R1	R2	R3																																																																													
17	21	12	—	19.8																																																																													
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																												
CT件数	32,872	34,511	33,727	31,307	32,682																																																																												
MRI件数	10,208	10,766	10,759	9,677	10,366																																																																												
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																												
手術室	4,933	4,799	4,857	4,185	4,509																																																																												
中放内視鏡	2,778	2,858	2,912	2,907	3,207																																																																												
合計	7,711	7,657	7,769	7,092	7,716																																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																														
		<p>【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td> <td>423</td> <td>517</td> <td>509</td> <td>414</td> <td>445</td> </tr> <tr> <td>よろず相談</td> <td>1,434</td> <td>1,804</td> <td>2,214</td> <td>2,432</td> <td>2,256</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>15,969</td> <td>17,605</td> <td>20,450</td> <td>21,347</td> <td>26,203</td> </tr> <tr> <td>がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数</td> <td>58</td> <td>228</td> <td>192</td> <td>39</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table> <p>【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>61</td> <td>48</td> <td>34</td> <td>28</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>57</td> <td>48</td> <td>34</td> <td>28</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> セカンドオピニオンの希望があったがん患者や家族の対応を継続した。当院から他院に紹介した件数は50件で、他院から当院に紹介があった件数は3件であった。 がん以外に関するセカンドオピニオンの受け入れを開始した。 <p>【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>76</td> <td>68</td> <td>51</td> <td>38</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院ホームページは全面的なリニューアルをし、新棟開設に関する特設ページや病院に親しんでいただけるコラムを掲載した。 病院広報誌「けんびょういん」をリニューアルし、より手に取りやすく、分かりやすい紙面にしたほか、地域情報誌への医療情報を提供し、積極的に情報を発信した。 	項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3	かかりつけ医への紹介	423	517	509	414	445	よろず相談	1,434	1,804	2,214	2,432	2,256	項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3	医療相談件数	15,969	17,605	20,450	21,347	26,203	がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数	58	228	192	39	39	項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3	請求件数	61	48	34	28	32	開示件数	57	48	34	28	32	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	外来受入	5	7	7	4	4	他院紹介	76	68	51	38	52	<p>4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サポートカンファレンスにおいて、127件の症例を検討した。 地域の病院や公立の図書館等に各種パンフレットを配布し、がん相談支援センターやがんサロンの役割等について案内した。 がん相談の対応内容は、症状や副作用、後遺症、日常生活、介護や看護、不安や精神的苦痛、患者と家族の関係が多く、それぞれのケースに応じて対応した。 患者満足度調査（外来の回収率52.4%、病棟の回収率34.6%）を実施したところ、外来部門は「総合評価点」、「受診満足度」が低下。入院部門は「総合評価点」、「受診満足度」が向上した。 診察後の支払いまでの待ち時間は+4.4ポイントと大きく向上。医師の言葉遣いや態度は0.6ポイント減、施設の老朽化により雰囲気満足度が12%と大きく低下。 <p>【満足度調査の比較】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">満足度</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入院</td> <td>当院</td> <td>95.5</td> <td>96.4</td> <td>97.3</td> <td>95.3</td> <td>95.9</td> </tr> <tr> <td>Q Iプロジェクト参加病院（平均値）</td> <td>89.9</td> <td>89.3</td> <td>88.7</td> <td>81.9</td> <td>91.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>当院</td> <td>87.2</td> <td>87.9</td> <td>82.7</td> <td>85.0</td> <td>85.3</td> </tr> <tr> <td>Q Iプロジェクト参加病院（平均値）</td> <td>82.5</td> <td>82.5</td> <td>81.5</td> <td>89.5</td> <td>83.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ Q Iプロジェクトデータを全て引用</p>			満足度					H29	H30	R1	R2	R3	入院	当院	95.5	96.4	97.3	95.3	95.9	Q Iプロジェクト参加病院（平均値）	89.9	89.3	88.7	81.9	91.3	外来	当院	87.2	87.9	82.7	85.0	85.3	Q Iプロジェクト参加病院（平均値）	82.5	82.5	81.5	89.5	83.7		
項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																														
かかりつけ医への紹介	423	517	509	414	445																																																																																																														
よろず相談	1,434	1,804	2,214	2,432	2,256																																																																																																														
項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																														
医療相談件数	15,969	17,605	20,450	21,347	26,203																																																																																																														
がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数	58	228	192	39	39																																																																																																														
項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																														
請求件数	61	48	34	28	32																																																																																																														
開示件数	57	48	34	28	32																																																																																																														
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																														
外来受入	5	7	7	4	4																																																																																																														
他院紹介	76	68	51	38	52																																																																																																														
		満足度																																																																																																																	
		H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																													
入院	当院	95.5	96.4	97.3	95.3	95.9																																																																																																													
	Q Iプロジェクト参加病院（平均値）	89.9	89.3	88.7	81.9	91.3																																																																																																													
外来	当院	87.2	87.9	82.7	85.0	85.3																																																																																																													
	Q Iプロジェクト参加病院（平均値）	82.5	82.5	81.5	89.5	83.7																																																																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																										
		<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県立多治見病院運営協議会を3月に開催し、当院の運営に関し地域住民等の代表との意見交換を行った。 																																																																													
03	※ 診療体制の充実 1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 2 多様な専門職の積極的な活用		1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス感染症により、入院患者への面会不可能となったため、患者への荷物の授受を曜日別に実施。緊急入院・時間外での持ち込みも対応した。 長期休暇期間中に特別診療日を設け、医師による診療を行った。 前年度の入院前支援の対応件数は247件であったが、本年度は726件に増加した。また、退院支援のための介入数も増加し、本年度は合計8,302件の症例に対応した。 医療連携推進協議会（7月、9月、12月、3月）、東濃可児地域病病連携会議（8月）、地域連携パス合同会議（6月、11月、3月）、循環器病診連携の会（9月、10月、12月、3月）を実施した。 【連携予約状況】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>1,213</td> <td>1,247</td> <td>1,427</td> <td>1,212</td> <td>1,399</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>818</td> <td>870</td> <td>995</td> <td>752</td> <td>785</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>1,715</td> <td>1,922</td> <td>2,047</td> <td>1,936</td> <td>1,963</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10,732</td> <td>11,115</td> <td>11,743</td> <td>10,076</td> <td>10,653</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14,478</td> <td>15,154</td> <td>16,212</td> <td>13,976</td> <td>14,800</td> </tr> </tbody> </table> 【訪問活動・健康づくり講座】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問活動（件）</td> <td>100</td> <td>20</td> <td>34</td> <td>48</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>健康づくり講座（回）</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 【医療連携交流会】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院外参加者数</td> <td>68</td> <td>中止</td> <td>開催自粛</td> <td>開催自粛</td> </tr> <tr> <td>院内参加者数</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>118</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	整形外科	1,213	1,247	1,427	1,212	1,399	神経内科	818	870	995	752	785	消化器内科	1,715	1,922	2,047	1,936	1,963	その他	10,732	11,115	11,743	10,076	10,653	合計	14,478	15,154	16,212	13,976	14,800	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	訪問活動（件）	100	20	34	48	15	健康づくり講座（回）	20	21	17	3	0	区分\年度	H30	R1	R2	R3	院外参加者数	68	中止	開催自粛	開催自粛	院内参加者数	50				合計	118				III	連携予約の状況、看護助手の採用等について平年並みの実績と評価
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																										
整形外科	1,213	1,247	1,427	1,212	1,399																																																																										
神経内科	818	870	995	752	785																																																																										
消化器内科	1,715	1,922	2,047	1,936	1,963																																																																										
その他	10,732	11,115	11,743	10,076	10,653																																																																										
合計	14,478	15,154	16,212	13,976	14,800																																																																										
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																										
訪問活動（件）	100	20	34	48	15																																																																										
健康づくり講座（回）	20	21	17	3	0																																																																										
区分\年度	H30	R1	R2	R3																																																																											
院外参加者数	68	中止	開催自粛	開催自粛																																																																											
院内参加者数	50																																																																														
合計	118																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																														
			2 多様な専門職の積極的な活用 <ul style="list-style-type: none"> 非常勤職員として医師事務作業補助者3名、看護助手7名、看護助手(派遣)10名、介護福祉士4名を採用した。 定年再雇用者は14名を採用した。 																																																																																																																
04	※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上 2 地域連携クリニカルパス 3 疾病予防の推進 4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献	1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上 <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携センター(前方連携・後方連携)による開業医への訪問活動を実施(15件)し、近隣病院との役割分担の明確化、連携強化を図った。また、診療科の医師も訪問に同行し紹介患者獲得に向けて活動した。 各診療科や部門についてのPR用パンフレットを作成、配布した。 多治見シャトル(かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み)については、新型コロナウイルス感染拡大のなかにも利用件数が増加しており、患者紹介率、逆紹介率としても高い水準を維持することができた。 <p>【多治見シャトル利用】 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,626</td> <td>2,043</td> <td>2,840</td> <td>2,834</td> <td>3,273</td> </tr> </tbody> </table> <p>【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位:%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>63.7</td> <td>67.0</td> <td>78.4</td> <td>82.0</td> <td>80.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率(単位:%)</td> <td>76.2</td> <td>75.1</td> <td>73.4</td> <td>74.3</td> <td>72.8</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数(単位:件)</td> <td>22,651</td> <td>22,632</td> <td>20,677</td> <td>17,048</td> <td>18,345</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(単位:%)</td> <td>88.0</td> <td>89.2</td> <td>101.2</td> <td>98.6</td> <td>97.4</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数(単位:件)</td> <td>17,437</td> <td>18,246</td> <td>19,996</td> <td>16,590</td> <td>17,638</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	1,626	2,043	2,840	2,834	3,273	H29	H30	R1	R2	R3	63.7	67.0	78.4	82.0	80.7	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	紹介率(単位:%)	76.2	75.1	73.4	74.3	72.8	紹介実件数(単位:件)	22,651	22,632	20,677	17,048	18,345	逆紹介率(単位:%)	88.0	89.2	101.2	98.6	97.4	逆紹介実件数(単位:件)	17,437	18,246	19,996	16,590	17,638	2 地域連携クリニカルパスの整備普及 <ul style="list-style-type: none"> 地域連携クリニカルパス(大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病)の運用促進のため、医療連携推進協議会(4回)を開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。 <p>【地域連携パス運用実績】 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パス名\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>115</td> <td>101</td> <td>129</td> <td>93</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>247</td> <td>267</td> <td>238</td> <td>251</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>5大がん</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>狭心症・心筋梗塞</td> <td>65</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>439</td> <td>409</td> <td>388</td> <td>374</td> <td>322</td> </tr> </tbody> </table> <p>【共同指導・連携指導の実績】 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時共同指導実績</td> <td>129</td> <td>171</td> <td>204</td> <td>222</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td> <td>184</td> <td>371</td> <td>372</td> <td>229</td> <td>174</td> </tr> </tbody> </table>	パス名\年度	H29	H30	R1	R2	R3	大腿骨頸部骨折	115	101	129	93	87	脳卒中	247	267	238	251	220	5大がん	12	16	6	19	13	狭心症・心筋梗塞	65	25	15	11	2	糖尿病	0	0	0	0	0	合計	439	409	388	374	322	項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3	退院時共同指導実績	129	171	204	222	202	介護支援連携指導	184	371	372	229	174	IV	開業医等への積極的な訪問による近隣の医療機関との連携強化、及び医療相談の高い介入率を評価。
H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																															
1,626	2,043	2,840	2,834	3,273																																																																																																															
H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																															
63.7	67.0	78.4	82.0	80.7																																																																																																															
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																														
紹介率(単位:%)	76.2	75.1	73.4	74.3	72.8																																																																																																														
紹介実件数(単位:件)	22,651	22,632	20,677	17,048	18,345																																																																																																														
逆紹介率(単位:%)	88.0	89.2	101.2	98.6	97.4																																																																																																														
逆紹介実件数(単位:件)	17,437	18,246	19,996	16,590	17,638																																																																																																														
パス名\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																														
大腿骨頸部骨折	115	101	129	93	87																																																																																																														
脳卒中	247	267	238	251	220																																																																																																														
5大がん	12	16	6	19	13																																																																																																														
狭心症・心筋梗塞	65	25	15	11	2																																																																																																														
糖尿病	0	0	0	0	0																																																																																																														
合計	439	409	388	374	322																																																																																																														
項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																														
退院時共同指導実績	129	171	204	222	202																																																																																																														
介護支援連携指導	184	371	372	229	174																																																																																																														
			3 疾病予防の推進 <ul style="list-style-type: none"> 地域住民を対象とした健康づくり講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止とした。 																																																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																										
		<p>【高度医療機器利用状況】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>924</td> <td>892</td> <td>1,031</td> <td>856</td> <td>907</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>666</td> <td>612</td> <td>607</td> <td>601</td> <td>608</td> </tr> <tr> <td>R I</td> <td>128</td> <td>130</td> <td>158</td> <td>194</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>58</td> <td>39</td> <td>50</td> <td>61</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>骨密度</td> <td>66</td> <td>76</td> <td>85</td> <td>79</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,842</td> <td>1,749</td> <td>1,931</td> <td>1,791</td> <td>1,858</td> </tr> </tbody> </table> <p>【開放型病床利用】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>50</td> <td>26</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>29</td> <td>20</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週1回、医療相談課全体ミーティング（入退院支援担当看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師）を開催しており、退院調整看護師と相談員とは、常に情報共有をしながら、連携体制を維持・強化している。その結果、退院支援の介入率は60%から70%を維持した。 多職種を交えた合同カンファレンスは、Webを活用するなどして進めた。 <p>【在宅復帰率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>87.3</td> <td>92.1</td> <td>91.0</td> <td>91.6</td> <td>92.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【相談対応件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,969</td> <td>17,605</td> <td>20,450</td> <td>21,347</td> <td>26,454</td> </tr> </tbody> </table> <p>【合同カンファレンスの実績】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>313</td> <td>386</td> <td>465</td> <td>450</td> <td>377</td> </tr> </tbody> </table>	機器名\年度	H29	H30	R1	R2	R3	CT	924	892	1,031	856	907	MR I	666	612	607	601	608	R I	128	130	158	194	197	PET	58	39	50	61	47	骨密度	66	76	85	79	99	合計	1,842	1,749	1,931	1,791	1,858	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	医科	50	26	11	1	11	歯科	24	24	29	20	35	H29	H30	R1	R2	R3	87.3	92.1	91.0	91.6	92.2	H29	H30	R1	R2	R3	15,969	17,605	20,450	21,347	26,454	H29	H30	R1	R2	R3	313	386	465	450	377			
機器名\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																										
CT	924	892	1,031	856	907																																																																																										
MR I	666	612	607	601	608																																																																																										
R I	128	130	158	194	197																																																																																										
PET	58	39	50	61	47																																																																																										
骨密度	66	76	85	79	99																																																																																										
合計	1,842	1,749	1,931	1,791	1,858																																																																																										
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																										
医科	50	26	11	1	11																																																																																										
歯科	24	24	29	20	35																																																																																										
H29	H30	R1	R2	R3																																																																																											
87.3	92.1	91.0	91.6	92.2																																																																																											
H29	H30	R1	R2	R3																																																																																											
15,969	17,605	20,450	21,347	26,454																																																																																											
H29	H30	R1	R2	R3																																																																																											
313	386	465	450	377																																																																																											

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																																																																				
05	※ 重点的に取り組む医療 1 救急医療 2 周産期医療 3 がん医療 4 精神科医療・感染症医療 5 緩和ケア 6 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実	1 救急医療 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウイルス感染症防止として、全例電話にて体調チェックしてからの受診とした。 ・ 救命救急センターと各診療科の緊密な連携により、引き続き受け入れ体制を維持するとともに救急医療部門の体制を拡充し、救急医療のさらなる充実に努めた。 ・ 当院と多治見市民病院との病院間専用回線電話を設置し、地域の救急医療の効率化と両病院の連携強化を図り、運用を開始した。 <p>【救命救急センター受入実績（延患者数及び病床利用率）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td> <td>1,539</td> <td>52.7</td> <td>1,440</td> <td>49.3</td> <td>1,526</td> <td>52.3</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>844</td> <td>77.1</td> <td>907</td> <td>82.8</td> <td>864</td> <td>78.9</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>1,678</td> <td>51.1</td> <td>1,688</td> <td>51.4</td> <td>1,688</td> <td>48.2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,061</td> <td>55.6</td> <td>4,035</td> <td>55.3</td> <td>3,975</td> <td>54.5</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td> <td>1,554</td> <td>53.2</td> <td>1,567</td> <td>53.7</td> <td>1,531</td> <td>53.9</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>840</td> <td>76.7</td> <td>768</td> <td>70.1</td> <td>745</td> <td>68.8</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>1,481</td> <td>45.1</td> <td>1,032</td> <td>31.4</td> <td>957</td> <td>29.4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,875</td> <td>53.1</td> <td>3,367</td> <td>46.1</td> <td>3,233</td> <td>45.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【救急車両受入台数】 単位：台</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td> <td>4,973</td> <td>5,082</td> <td>5,136</td> <td>4,110</td> <td>4,554</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>13.6</td> <td>13.9</td> <td>14.0</td> <td>11.3</td> <td>12.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【心臓血管手術症例数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虚血性心疾患</td> <td>36</td> <td>42</td> <td>35</td> <td>28</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>弁膜症</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>42</td> <td>36</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>大動脈</td> <td>53</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>92</td> <td>84</td> <td>82</td> <td>40</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H28		H29		H30		項目	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	ICU	1,539	52.7	1,440	49.3	1,526	52.3	CCU	844	77.1	907	82.8	864	78.9	HCU	1,678	51.1	1,688	51.4	1,688	48.2	合計	4,061	55.6	4,035	55.3	3,975	54.5	年度	R1		R2		R3		項目	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	ICU	1,554	53.2	1,567	53.7	1,531	53.9	CCU	840	76.7	768	70.1	745	68.8	HCU	1,481	45.1	1,032	31.4	957	29.4	合計	3,875	53.1	3,367	46.1	3,233	45.1	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	受入台数	4,973	5,082	5,136	4,110	4,554	一日平均台数	13.6	13.9	14.0	11.3	12.5	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	虚血性心疾患	36	42	35	28	22	弁膜症	37	37	42	36	20	大動脈	53	45	45	39	54	その他	92	84	82	40	36	5 緩和ケア <ul style="list-style-type: none"> ・ 緩和ケアチームによる回診を、相談内容に応じ柔軟に実施した。扱った症例数は208件で、前年度と比較し61件増えた。 <p>【緩和ケア勉強会等開催状況】 単位：回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア勉強会</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修会</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア講演会</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア市民公開講座</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【緩和ケアの患者動向】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>4,011</td> <td>3,433</td> <td>3,427</td> <td>1,584</td> <td>2,323</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>143</td> <td>124</td> <td>155</td> <td>150</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年12月から令和3年2月まで、新型コロナウイルス感染対策のため、緩和ケア病棟を一時休止。</p> 6 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療的ケア児等を対象としたレスパイト入院の機能を備えた新中央診療棟の建設工事を発注した。運用開始に向けた施設・備品、人員体制、運用方法等について、先進病院の取組状況も参考に、次年度以降に検討を開始する予定。 	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	緩和ケア勉強会	6	6	5	0	0	緩和ケア研修会	1	1	0	1	0	緩和ケア講演会	0	0	0	0	0	緩和ケア市民公開講座	1	1	1	1	1	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	入院患者数	4,011	3,433	3,427	1,584	2,323	外来患者数	143	124	155	150	210	IV	感染症指定医療機関として新型コロナウイルスへ対応し、その中において重点医療の提供を推進した実績を評価
年度	H28		H29		H30																																																																																																																																																																																				
項目	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)																																																																																																																																																																																			
ICU	1,539	52.7	1,440	49.3	1,526	52.3																																																																																																																																																																																			
CCU	844	77.1	907	82.8	864	78.9																																																																																																																																																																																			
HCU	1,678	51.1	1,688	51.4	1,688	48.2																																																																																																																																																																																			
合計	4,061	55.6	4,035	55.3	3,975	54.5																																																																																																																																																																																			
年度	R1		R2		R3																																																																																																																																																																																				
項目	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)																																																																																																																																																																																			
ICU	1,554	53.2	1,567	53.7	1,531	53.9																																																																																																																																																																																			
CCU	840	76.7	768	70.1	745	68.8																																																																																																																																																																																			
HCU	1,481	45.1	1,032	31.4	957	29.4																																																																																																																																																																																			
合計	3,875	53.1	3,367	46.1	3,233	45.1																																																																																																																																																																																			
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																																																																																				
受入台数	4,973	5,082	5,136	4,110	4,554																																																																																																																																																																																				
一日平均台数	13.6	13.9	14.0	11.3	12.5																																																																																																																																																																																				
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																																																																																				
虚血性心疾患	36	42	35	28	22																																																																																																																																																																																				
弁膜症	37	37	42	36	20																																																																																																																																																																																				
大動脈	53	45	45	39	54																																																																																																																																																																																				
その他	92	84	82	40	36																																																																																																																																																																																				
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																																																																																				
緩和ケア勉強会	6	6	5	0	0																																																																																																																																																																																				
緩和ケア研修会	1	1	0	1	0																																																																																																																																																																																				
緩和ケア講演会	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																				
緩和ケア市民公開講座	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																				
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																																																																																				
入院患者数	4,011	3,433	3,427	1,584	2,323																																																																																																																																																																																				
外来患者数	143	124	155	150	210																																																																																																																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																			
		<table border="1"> <tr> <td>合計</td> <td>218</td> <td>208</td> <td>204</td> <td>143</td> <td>132</td> </tr> </table> <p>【手術・検査件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心カテ</td> <td>1,022</td> <td>1,069</td> <td>893</td> <td>828</td> <td>838</td> </tr> <tr> <td>PCI※</td> <td>443</td> <td>361</td> <td>357</td> <td>351</td> <td>436</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PCI：冠動脈形成術</p> <p>【循環器系】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブレーション</td> <td>98</td> <td>195</td> <td>64</td> <td>222</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>PMI※</td> <td>52</td> <td>71</td> <td>68</td> <td>38</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>ICD※</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器</p> <p>【狭心症・心筋梗塞パズ運用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パズ運用(単位：件)</td> <td>65</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>登録医師数(単位：人)</td> <td>73</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>63</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症がまん延する中、東濃地域の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応できる体制を維持確保した。 <p>【周産期母子医療センターの主な実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数(単位：件)</td> <td>533</td> <td>541</td> <td>524</td> <td>462</td> <td>539</td> </tr> <tr> <td>新生児数(単位：人)</td> <td>563</td> <td>577</td> <td>547</td> <td>516</td> <td>535</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">年間入院者数</td> <td>NICU(単位：人)</td> <td>219</td> <td>203</td> <td>204</td> <td>185</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>GCU(単位：人)</td> <td>444</td> <td>390</td> <td>426</td> <td>370</td> <td>246</td> </tr> <tr> <td>産科(単位：人)</td> <td>719</td> <td>688</td> <td>663</td> <td>638</td> <td>604</td> </tr> <tr> <td>母胎搬送件数(単位：件)</td> <td>95</td> <td>76</td> <td>66</td> <td>86</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>新生児搬送件数(単位：件)</td> <td>52</td> <td>76</td> <td>68</td> <td>48</td> <td>93</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療装置(ノバリスTx)と新放射線治療装置(トゥルービーム)の稼働により根治照射・予防照射・緩和照射等正確で質の高 	合計	218	208	204	143	132	区分\年	H29	H30	R1	R2	R3	心カテ	1,022	1,069	893	828	838	PCI※	443	361	357	351	436	区分\年	H29	H30	R1	R2	R3	アブレーション	98	195	64	222	194	PMI※	52	71	68	38	84	ICD※	18	18	8	8	16	項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3	パズ運用(単位：件)	65	25	15	11	2	登録医師数(単位：人)	73	65	65	63	63	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	分娩件数(単位：件)	533	541	524	462	539	新生児数(単位：人)	563	577	547	516	535	年間入院者数	NICU(単位：人)	219	203	204	185	195	GCU(単位：人)	444	390	426	370	246	産科(単位：人)	719	688	663	638	604	母胎搬送件数(単位：件)	95	76	66	86	73	新生児搬送件数(単位：件)	52	76	68	48	93			
合計	218	208	204	143	132																																																																																																																			
区分\年	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																			
心カテ	1,022	1,069	893	828	838																																																																																																																			
PCI※	443	361	357	351	436																																																																																																																			
区分\年	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																			
アブレーション	98	195	64	222	194																																																																																																																			
PMI※	52	71	68	38	84																																																																																																																			
ICD※	18	18	8	8	16																																																																																																																			
項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																			
パズ運用(単位：件)	65	25	15	11	2																																																																																																																			
登録医師数(単位：人)	73	65	65	63	63																																																																																																																			
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																			
分娩件数(単位：件)	533	541	524	462	539																																																																																																																			
新生児数(単位：人)	563	577	547	516	535																																																																																																																			
年間入院者数	NICU(単位：人)	219	203	204	185	195																																																																																																																		
	GCU(単位：人)	444	390	426	370	246																																																																																																																		
	産科(単位：人)	719	688	663	638	604																																																																																																																		
母胎搬送件数(単位：件)	95	76	66	86	73																																																																																																																			
新生児搬送件数(単位：件)	52	76	68	48	93																																																																																																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																				
		<p>い治療を提供している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度より一度の手技による多病巣治療技術ブレインメツツを岐阜県内で初めて開始し、がん患者のQOL 向上に寄与している。 がん登録数は1,790 件で、前年度より337 件増加した。医療相談におけるがん相談件数は1,758 件で、177 件増加した。 ゲノム医療の対象数は32 件で、前年度より22 件増加した。 がん治療と就労の両立支援は、ハローワークと連携して92 件のケースを対応し、実際に就労となったケースは5 件あった。 前々年度よりがん診療連携拠点病院加算の算定増に取り組んでいる。令和元年度は291 件、令和2 年度は400 件、令和3 年度は621 件について加算を算定した。 <p>【がん患者等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数 (単位: 人)</td> <td>2,805</td> <td>3,060</td> <td>2,858</td> <td>2,808</td> <td>2,671</td> </tr> <tr> <td>外来患者数 (単位: 人)</td> <td>1,877</td> <td>1,848</td> <td>1,818</td> <td>1,923</td> <td>2,162</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,108</td> <td>1,066</td> <td>1,036</td> <td>945</td> <td>959</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化学療法件数</td> <td>入院</td> <td>1,510</td> <td>1,433</td> <td>1,505</td> <td>1,760</td> <td>1,583</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>11,610</td> <td>11,842</td> <td>12,704</td> <td>11,176</td> <td>12,528</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線治療施行回数</td> <td>入院</td> <td>2,853</td> <td>3,169</td> <td>2,950</td> <td>2,835</td> <td>2,621</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>5,185</td> <td>5,825</td> <td>6,481</td> <td>5,834</td> <td>5,914</td> </tr> </tbody> </table> <p>【がんパスポ件数】 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>【高精度放射線治療システム (ノバリスTx・トゥルービーム)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数 (単位: 人)</td> <td>344</td> <td>471</td> <td>462</td> <td>446</td> <td>441</td> </tr> <tr> <td>強度変調放射線治療 (IMRT) 患者数 (単位: 人)</td> <td>254</td> <td>295</td> <td>337</td> <td>392</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td>延べ件数 (単位: 件)</td> <td>6,491</td> <td>9,413</td> <td>9,714</td> <td>9,040</td> <td>8,911</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核病床を利用して新型コロナウイルス感染症患者を受け入れ体制を整え、東濃地域の患者の受け入れを地域の保健所と協力し行った。 地域連携加算病院に対し、コロナ患者発生時には、施設への指導を行 	項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3	入院患者数 (単位: 人)	2,805	3,060	2,858	2,808	2,671	外来患者数 (単位: 人)	1,877	1,848	1,818	1,923	2,162	手術件数	1,108	1,066	1,036	945	959	化学療法件数	入院	1,510	1,433	1,505	1,760	1,583	外来	11,610	11,842	12,704	11,176	12,528	放射線治療施行回数	入院	2,853	3,169	2,950	2,835	2,621	外来	5,185	5,825	6,481	5,834	5,914	H29	H30	R1	R2	R3	12	16	6	19	13	項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3	患者数 (単位: 人)	344	471	462	446	441	強度変調放射線治療 (IMRT) 患者数 (単位: 人)	254	295	337	392	305	延べ件数 (単位: 件)	6,491	9,413	9,714	9,040	8,911			
項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																				
入院患者数 (単位: 人)	2,805	3,060	2,858	2,808	2,671																																																																																				
外来患者数 (単位: 人)	1,877	1,848	1,818	1,923	2,162																																																																																				
手術件数	1,108	1,066	1,036	945	959																																																																																				
化学療法件数	入院	1,510	1,433	1,505	1,760	1,583																																																																																			
	外来	11,610	11,842	12,704	11,176	12,528																																																																																			
放射線治療施行回数	入院	2,853	3,169	2,950	2,835	2,621																																																																																			
	外来	5,185	5,825	6,481	5,834	5,914																																																																																			
H29	H30	R1	R2	R3																																																																																					
12	16	6	19	13																																																																																					
項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																				
患者数 (単位: 人)	344	471	462	446	441																																																																																				
強度変調放射線治療 (IMRT) 患者数 (単位: 人)	254	295	337	392	305																																																																																				
延べ件数 (単位: 件)	6,491	9,413	9,714	9,040	8,911																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
		<p>った。マニュアル作成等についても助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東濃精神科医療連絡会はコロナの感染拡大のため開催しなかったが、転院等で連携がある地域の精神病院や関わりのある一般病院、相談支援事業所等とともに、訪問やWebにより情報交換を行った。 <p>【患者の受入れ実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病床\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>2,957</td> <td>1,603</td> <td>1,365</td> <td>2,197</td> <td>2,976</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>5,900</td> <td>4,842</td> <td>5,421</td> <td>3,761</td> <td>3,898</td> </tr> </tbody> </table>	病床\年度	H29	H30	R1	R2	R3	結核、感染症	2,957	1,603	1,365	2,197	2,976	精神科	5,900	4,842	5,421	3,761	3,898			
病床\年度	H29	H30	R1	R2	R3																		
結核、感染症	2,957	1,603	1,365	2,197	2,976																		
精神科	5,900	4,842	5,421	3,761	3,898																		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 調査及び臨床研究等の推進 先進医療の各分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び東濃圏域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。 ※ 診療情報等の活用 電子カルテシステム等をより有効に活用し、標準化された診療データの収集・分析を行い医療の質の向上を図るとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																	
06	※ 調査及び臨床研究等の推進 1 臨床研究及び治験の推進 2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進		1 臨床研究及び治験の推進 ・ 受託可能な案件がなく、新規受託はゼロとなった。 2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進 ・ 臨床共同研究については、関連大学等からの依頼に積極的に応じた。 【臨床研究及び治験件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床共同研究件数</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	治験実施件数	1	3	0	0	0	臨床共同研究件数	40	30	13	12	8	III	継続的な取組を実施しており、平年並みの実績と評価															
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																	
治験実施件数	1	3	0	0	0																																	
臨床共同研究件数	40	30	13	12	8																																	
07	※ 診療情報等の活用 1 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用 2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用		1 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用 ・ 当院ホームページ上で公開しているQ I指標については、2021年度データをすべて更新し、掲載した。毎年10月1日に行う、厚生労働省の定めた病院指標についても期日までに掲載し、機能評価係数を確保した。 ・ 診療に関する情報を分析・集計した上で、管理会議や各委員会に稼働額等を報告、周知した。また、各部門からの診療情報提供依頼に対応し、統計データを提供した。 ・ 地域医療連携推進協議会（年4回）等を通じ、医師会を始めとする医療関係機関、行政機関と情報を共有した。 【看護必要度】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30 ※</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院値</td> <td>29.0</td> <td>37.8</td> <td>31.2</td> <td>33.7</td> <td>33.8</td> </tr> <tr> <td>7対1施設基準</td> <td>25.0</td> <td>30.0</td> <td>25.0</td> <td>29.0</td> <td>29.0</td> </tr> </tbody> </table> ※平成30年度の改定時に評価項目の大幅な変更あり（値も大きく変動） 【診療密度】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\改定年度</th> <th>H26</th> <th>H28</th> <th>H30</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院値</td> <td>2381.11</td> <td>2416.98</td> <td>2386.25</td> <td>2674.42</td> </tr> <tr> <td>II群基準値</td> <td>2482.09</td> <td>2513.24</td> <td>2413.38</td> <td>2476.99</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H29	H30 ※	R1	R2	R3	当院値	29.0	37.8	31.2	33.7	33.8	7対1施設基準	25.0	30.0	25.0	29.0	29.0	項目\改定年度	H26	H28	H30	R2	当院値	2381.11	2416.98	2386.25	2674.42	II群基準値	2482.09	2513.24	2413.38	2476.99	III	Q I 事業等の継続的な取組を実施しており、平年並みの実績と評価
項目\年度	H29	H30 ※	R1	R2	R3																																	
当院値	29.0	37.8	31.2	33.7	33.8																																	
7対1施設基準	25.0	30.0	25.0	29.0	29.0																																	
項目\改定年度	H26	H28	H30	R2																																		
当院値	2381.11	2416.98	2386.25	2674.42																																		
II群基準値	2482.09	2513.24	2413.38	2476.99																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)					自己評価	自己評価理由																																												
			対基準値 (%)	95.93	96.17	98.88	107.8																																														
			【DPC係数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年月</th> <th>H29.4</th> <th>H30.4 ※</th> <th>H31.4</th> <th>R2.4 ※</th> <th>R3.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎係数</td> <td>1.0296</td> <td>1.0314</td> <td>1.0314</td> <td>1.0708</td> <td>1.0680</td> </tr> <tr> <td>暫定調整係数</td> <td>0.0224</td> <td>0.0000</td> <td>0.0000</td> <td>0.0000</td> <td>0.0000</td> </tr> <tr> <td>機能評価係数II</td> <td>0.0762</td> <td>0.1295</td> <td>0.1275</td> <td>0.1005</td> <td>0.1140</td> </tr> </tbody> </table> <p>※改定年</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本病院会Q I 事業や京都大学Q I P事業に引き続き参加してデータを提出し、フィードバックされたベンチマーク結果を医療の質向上委員会に報告し、院内へ周知を行った。また、当院Q I 指標の比較にも利用した。 DPCデータや各種情報システム(MIL・EVE・メディカルコード)を活用し、診療報酬委員会や各部門への診療情報の提供・分析報告を行った。 <p>【Q I 指標項目数】 単位：個</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>【がん登録件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,799</td> <td>1,661</td> <td>1,978</td> <td>1,453</td> <td>1,790</td> </tr> </tbody> </table>					項目\年月	H29.4	H30.4 ※	H31.4	R2.4 ※	R3.4	基礎係数	1.0296	1.0314	1.0314	1.0708	1.0680	暫定調整係数	0.0224	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	機能評価係数II	0.0762	0.1295	0.1275	0.1005	0.1140	H29	H30	R1	R2	R3	43	40	40	40	40	H29	H30	R1	R2	R3	1,799	1,661	1,978	1,453	1,790		
項目\年月	H29.4	H30.4 ※	H31.4	R2.4 ※	R3.4																																																
基礎係数	1.0296	1.0314	1.0314	1.0708	1.0680																																																
暫定調整係数	0.0224	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000																																																
機能評価係数II	0.0762	0.1295	0.1275	0.1005	0.1140																																																
H29	H30	R1	R2	R3																																																	
43	40	40	40	40																																																	
H29	H30	R1	R2	R3																																																	
1,799	1,661	1,978	1,453	1,790																																																	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。
	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 臨床研修指定病院として、臨床研修医の積極的な受入れを行うとともに、岐阜県医師育成・確保コンソーシアム等と連携し、臨床研修医の資質向上を図ること。 また、専門研修プログラムの基幹又は連携施設として、専攻医の育成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																		
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>1 質の高い臨床研修医の養成等</p> <p>2 専攻医の育成等</p>	<p>2 専攻医に対する育成等</p> <ul style="list-style-type: none"> 内科領域、外科領域及び精神科領域の専門研修プログラムの基幹施設として、内科医師5名、外科医師2名を当院プログラムに採用した。 内科専攻研修プログラムの基幹施設として、公立陶生病院内科専門研修プログラムと合同で症例検討会を実施した。 内科専門研修プログラムの基幹施設として、JMCC(日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会)を開催し、当院内科専門研修プログラムの専攻医1年目5名が受講した。 <p>【後期研修医(レジデント)数】 単位:人(各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	医師	19	16	19	20	21	歯科医師	1	1	3	2	2	<p>1 質の高い臨床研修医の養成等</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修医の資質の向上に寄与するため、岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、名古屋大学等から講師を招聘して総合診療教育カンファレンス(計9回)、総合内科診療教育研修(計11回)を開催した。 内科症例検討会を月1回開催し、研修医自ら症例を提示した。 研修医に対し、各診療科部長による実践的な講義(毎月2診療科)を開催した(計24回開催)。また、上級医(若手先輩医師)を講師とした早朝勉強会を月1回開催した(計12回開催)。 <p>【医師の研修派遣実績人数】 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>409</td> <td>510</td> <td>455</td> <td>182</td> <td>309</td> </tr> </tbody> </table> <p>【職員を対象とした外部講師開催実績】 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>講演会等名</th> <th>講師</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="3">新型コロナウイルス感染拡大のため開催見送り</td> </tr> </tbody> </table> <p>【研修医を対象とした外部講師開催実績】 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講演会等名</th> <th>回数</th> <th>講師</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合診療教育カンファレンス</td> <td>9</td> <td>名古屋大学総合診療科 松久 貴晴先生</td> <td>185人</td> </tr> <tr> <td>総合内科診療教育研修</td> <td>11</td> <td>AOI名古屋病院 三島 信彦先生</td> <td>63人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	派遣	409	510	455	182	309	開催日	講演会等名	講師	参加者		新型コロナウイルス感染拡大のため開催見送り			講演会等名	回数	講師	参加者	総合診療教育カンファレンス	9	名古屋大学総合診療科 松久 貴晴先生	185人	総合内科診療教育研修	11	AOI名古屋病院 三島 信彦先生	63人	III	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																		
医師	19	16	19	20	21																																																		
歯科医師	1	1	3	2	2																																																		
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																		
派遣	409	510	455	182	309																																																		
開催日	講演会等名	講師	参加者																																																				
	新型コロナウイルス感染拡大のため開催見送り																																																						
講演会等名	回数	講師	参加者																																																				
総合診療教育カンファレンス	9	名古屋大学総合診療科 松久 貴晴先生	185人																																																				
総合内科診療教育研修	11	AOI名古屋病院 三島 信彦先生	63人																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																
			<p>【初期臨床研修医数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	医師	21	23	23	26	24	歯科医師	2	2	2	2	2																																																
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																
医師	21	23	23	26	24																																																																
歯科医師	2	2	2	2	2																																																																
09	<p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施</p> <p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>3 岐阜県立多治見看護専門学校での看護師養成に対する支援</p>	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても、教育機関（計5校）からの実習受け入れを継続した。医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から、感染対策を講じながら積極的に受け入れ実習を行った。また、看護学生やコメディカルも同様に大学や専門学校からの実習を積極的に受け入れた。 教育機関への講師派遣（計27名）も例年通り行った。 インターンシップは感染状況を見ながら受入れ、長期休暇期間を中心に3月末までに16名の看護学生が参加した。 <p>【学生の実習受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>22</td> <td>41</td> <td>52</td> <td>18</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>458</td> <td>505</td> <td>481</td> <td>426</td> <td>424</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>59</td> <td>69</td> <td>63</td> <td>67</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>539</td> <td>615</td> <td>596</td> <td>511</td> <td>538</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医学生の見学受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92</td> <td>108</td> <td>64</td> <td>30</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急救命士に対しては、生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習のほか、救急搬入後の事後検証会を定期的に実施した。 <p>【救急救命士の研修実績状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>54</td> <td>78</td> <td>82</td> <td>76</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>就業前実習</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	医学生	22	41	52	18	41	看護学生	458	505	481	426	424	コメディカル	59	69	63	67	73	合計	539	615	596	511	538	H29	H30	R1	R2	R3	92	108	64	30	65	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	生涯教育実習	54	78	82	76	83	就業前実習	4	4	8	7	9	気管挿管実習	4	2	2	6	6	<p>3 岐阜県立多治見看護専門学校での看護師養成に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県立多治見看護専門学校に対して、病院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し、看護師養成に支援した。 	IV	救急救命士の研修実績向上、及び実習生の受け入れ増加の実績を評価
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																
医学生	22	41	52	18	41																																																																
看護学生	458	505	481	426	424																																																																
コメディカル	59	69	63	67	73																																																																
合計	539	615	596	511	538																																																																
H29	H30	R1	R2	R3																																																																	
92	108	64	30	65																																																																	
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																
生涯教育実習	54	78	82	76	83																																																																
就業前実習	4	4	8	7	9																																																																
気管挿管実習	4	2	2	6	6																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況					その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
		薬剤投与実習	1	2	6	7			
		合計	63	86	98	96	104		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。</p> <p>※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、東濃圏域の基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域、医師不足診療科、へき地診療所等への、人的支援を含む診療支援を充実させ、地域医療の確保に努めること。</p> <p>※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。</p> <p>※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報について、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
10	<p>※ 地域医療への支援</p> <p>1 地域医療水準の向上</p> <p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</p>		<p>1 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 第36回岐阜県病院協会医学会において、当院から24の演題を発表した。東濃医学会学術集会においては、当院から8つの演題を発表した。また、令和4年は当院が会議事務局であるため、その準備を進めた。 医療連携推進協議会を4回（7月、9月、12月、3月）開催した。 地域医療連携センター（前方連携・後方連携）による開業医への訪問活動を実施した。（15件） <p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険上矢作病院へは毎週、医師1名を当直業務に派 	III	近隣病院の医師不足診療科に対して支援を継続しており、平年並みと評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																														
			遣した。 ・ 土岐市立総合病院（地域外来検査センター）へは週に1度、3年目の医師1名を当直業務に派遣した。																																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣医療機関</th> <th>派遣状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険上矢作病院</td> <td>週1回（当直業務） 1人（11人で交代）</td> </tr> <tr> <td>土岐市立総合病院</td> <td>毎週金曜日（当直業務） （4人で交代）</td> </tr> </tbody> </table>	派遣医療機関	派遣状況	国民健康保険上矢作病院	週1回（当直業務） 1人（11人で交代）	土岐市立総合病院	毎週金曜日（当直業務） （4人で交代）																										
派遣医療機関	派遣状況																																		
国民健康保険上矢作病院	週1回（当直業務） 1人（11人で交代）																																		
土岐市立総合病院	毎週金曜日（当直業務） （4人で交代）																																		
11	※ 社会的な要請への協力	<ul style="list-style-type: none"> 自治体、看護協会等からの要請に応じ、認定看護師を中心に講師派遣を行った。 新型コロナ感染拡大時には行政からの要請に応じ、宿泊療養施設やワクチン集団接種会場への看護師派遣を行った。 東濃地域の医療機関や高齢者施設への感染予防対策支援及びクラスター発生時の体制整備のため、感染管理認定看護師を派遣した。 医療系専門学校、大学、企業、地域、近隣の病院や施設等の要請に応じ、コメディカル等を講師として派遣した。 <p>【講師等派遣の状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>222</td> <td>179</td> <td>201</td> <td>106</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>64</td> <td>55</td> <td>29</td> <td>40</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>32</td> <td>46</td> <td>65</td> <td>22</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>318</td> <td>280</td> <td>295</td> <td>168</td> <td>253</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	医師	222	179	201	106	197	看護師	64	55	29	40	39	コメディカル	32	46	65	22	17	合計	318	280	295	168	253		IV	新型コロナウイルス感染拡大に対応し、宿泊療養施設、近隣医療機関等へ看護師等を派遣した実績を評価
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																														
医師	222	179	201	106	197																														
看護師	64	55	29	40	39																														
コメディカル	32	46	65	22	17																														
合計	318	280	295	168	253																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供	2 保健医療、健康管理等の情報提供 ・ 病院広報誌「けんびょういん」をリニューアルのうえ発行し、より手に取りやすく、分かりやすい紙面にしたほか、地域情報誌への医療情報を提供し、積極的に情報を発信した。	1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・ 健康づくり講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。	Ⅲ	広報誌を効果的にリニューアルできた一方で、公開講座は実施することができなかった。

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	<p>1-5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)、災害派遣精神医療チーム(以下「DPAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。</p> <p>※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受け入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは東濃圏域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるよう、食料及び飲料水の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。 また、新中央診療棟の整備に合わせて、防災ヘリが離着陸可能なヘリポートを整備するとともに、水害に備えた施設、設備を整備すること。</p> <p>※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づきDMAT及びDPATを派遣するなど、積極的に医療救護の協力をを行うこと。</p> <p>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画(BCP)の継続的な見直し及び訓練等を実施すること。</p> <p>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受け入れ、重症症例の治療等を行うこと。 感染症指定医療機関として、平時から患者受け入れ体制を整備するとともに、東濃圏域の医療機関に対して医療情報の提供など指導的役割を担うこと。</p>
------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由											
13	※ 医療救護活動の拠点機能の充実 1 医療救護活動の拠点機能の充実 2 災害拠点病院としての機能強化	1 医療救護活動の拠点機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> 年2回実施している消防訓練を、コロナの影響により規模を縮小して実施。階段を使って要介護者を避難させる訓練も同時に行った。 大規模災害時においてもインターネット回線が引き続き使えるよう、別の流用回線を利用する目的を付けた。 災害時での立体駐車場の活用を考慮し、立体駐車場（東西両方とも）においてWi-Fiを使用できるようにした。 <p>【災害訓練の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害実働訓練</td> <td>R3. 11. 24</td> <td>本部員訓練を実施</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">消防訓練</td> <td>R3. 6. 23</td> <td>R3. 6. 23 は洪水を想定した訓練を、</td> </tr> <tr> <td>R4. 1. 21</td> <td>R4. 1. 21 は火災を想定した訓練を実施</td> </tr> </tbody> </table> 2 災害拠点病院としての機能強化 <ul style="list-style-type: none"> 井水浄化設備の設置が完了し、市水断水時にも水を確保できる体制を整えた。 DMATやDPATの隊員確保に向けた協議を進めた。 災害発生時に診療継続可能な機能（強固なインフラ整備、浸水防止機能、防災ヘリポート等）を備えた新中央診療棟の建設工事について、建築工事、電気設備工事、空調設備工事、衛生設備工事、エレベーター設備工事の5つに分離し、発注した。 		開催日	備考	災害実働訓練	R3. 11. 24	本部員訓練を実施	消防訓練	R3. 6. 23	R3. 6. 23 は洪水を想定した訓練を、	R4. 1. 21	R4. 1. 21 は火災を想定した訓練を実施		IV	災害発生時においても診療継続可能な設備を備えた新中央診療棟の建設を開始した実績を評価
	開催日	備考														
災害実働訓練	R3. 11. 24	本部員訓練を実施														
消防訓練	R3. 6. 23	R3. 6. 23 は洪水を想定した訓練を、														
	R4. 1. 21	R4. 1. 21 は火災を想定した訓練を実施														
14	※ 他県等の医療救護への協力 1 DMAT及びDPATの質の向上と維持 2 大規模災害発生時のDMAT及びDPATの派遣		1 DMAT及びDPATの質の向上と維持 <ul style="list-style-type: none"> 自然災害や大規模事故の発生時を想定した、DPAT隊員向けの技能養成研修に参加した。 2 大規模災害発生時のDMAT及びDPATの派遣 <ul style="list-style-type: none"> 派遣実績はないものの、常時、派遣の体制を維持した。 	III	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価											
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 1 診療継続計画の継続的な見	2 診療情報のバックアップシステムの適正管理 <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテのベンダーの施設は、免振構造で受配電や蓄電の設備も強化してあることを確認したうえで、マルウェア対策としてデータのバックアップを世代別に保存できないか打診したと 	1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 <ul style="list-style-type: none"> 災害時に緊急度や優先順位を判断するための材料となる情報を、正確かつ迅速に把握するため、現在運用している情報収集システムの改修の検討に入った。 	IV	診療情報の世代別バックアップについて具体策が決定した実績を評価											

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
	直し及び訓練等の実施 2 診療情報のバックアップシステムの適正管理	ころ、令和4年度半ばにはその方向で契約できる目途がついた。また、院内においてもLTOによる世代別保存を可能とするため、運用の調整に入った。			
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・ 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行っており、そのためのマニュアル作成や、必要な物資、資材の備蓄等を実施している。当該マニュアル等は、メール等を利用し、職員へ周知した。 ・ 地域連携加算病院や地域の高齢者施設におけるクラスター対応のため、直接施設へ訪問し、指導を行った。 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮 ・ 感染防止対策地域連携病院として、他施設、開業医に対し、情報共有や感染対策の支援等を実施した。 ・ 新型コロナウイルスの感染予防対策や治療等について、他施設等を対象としたWeb勉強会を開催した。また、東濃地区の施設からの質問等を受け付け、それに対応した。	2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 ・ 感染状況や国・県の方針等を踏まえ、病院が独自に定める行動指針の見直しを行った。行動指針は職員に周知するとともに院内の委託業者等に対しても協力を求め、病院機能の維持を図った。	IV	新型コロナウイルス感染拡大に際し、感染指定医療機関としての各種対応を評価

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立	<p>自主性・効率性・透明性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。</p> <p>※ 組織体制の充実 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ICT（情報通信技術）などの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営効率の高い業務執行体制の充実を図ること。</p> <p>※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 医療需要の動向や経営状況の変化に迅速かつ的確に対応することができるよう、職員配置の在り方を検証し、弾力的に運用すること。 また、常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。</p> <p>※ 人事評価システムの運用 人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努めること。</p> <p>※ 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した職員の確保及び育成により、専門性の向上を図ること。</p> <p>※ コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底 職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。</p> <p>※ 適切な情報管理 職員の情報セキュリティに対する意識向上やセキュリティ監視機能の充実・強化等、情報セキュリティ対策に努めること。</p>
------	-------------------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
17	<p>※ 組織体制の充実</p> <p>1 組織体制の充実</p> <p>2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進</p> <p>3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実</p>	<p>2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立3病院で共同開発を進めていた新人事給与システムは令和3年4月に稼働を開始した。 病院ホームページは業者のノウハウを活用し、内容の充実化、更新の迅速化を図った。 オンライン資格認証システムを導入し、マイナンバーカード認証機3台によって初再診患者の確認を実施した。 <p>3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 無線デバイスの利用に伴うトラフィックの増加を見据え、接続数の増加を図り、設定変更を行った。 新中央診療棟建設までの年次計画に沿い、東病棟のフロアスイッチを更新した。 地域医療連携システムのソフト、ハードの導入は完了した。 AIによる画像診断は、関係するシステムとの調整が終わり、令和4年度の開発に向け、契約の仕様を調整した。 	<p>1 組織体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> コメディカル、事務部門において、担当編成を一部改め、組織体制の充実を図った。 	IV	オンライン資格認証システム、AI問診システム等を稼働し、合理化を推進した実績を評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> ・ AI問診システムは令和3年12月に稼働開始した。 ・ マイナンバーによるオンライン保険確認システムは令和3年11月に稼働開始した。 			
18	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 1 人員配置の検証及び弾力的運用 2 効果的な体制による医療の提供		1 人員配置の検証及び弾力的運用 ・ 看護師の配置について、人員の不足している手術部、救命救急センターを中心に採用活動を行い補充した。 2 効果的な体制による医療の提供 ・ 医師事務作業補助者3名、看護助手7名、看護助手(派遣)10名、介護福祉士4名の人員を確保し、医師等の負担軽減を図った。	III	人員の配置、採用等については平年並みと評価
19	※ 人事評価システムの運用 1 人事評価システムの運用		1 人事評価システムの運用 ・ 目標管理と連動し、公正で客観的な人事評価制度の円滑な運用に努めた。	III	例年どおりの運用であり、平年並みと評価
20	※ 事務部門の専門性の向上 1 事務部門職員の確保及び育成	1 事務部門職員の確保及び育成 ・ DPCコーディング業務を病院職員で行うことによって、診療内容や副傷病など細かく点検し、より適切なコーディングを実施した。 ・ R3.4.1付で新規学卒・常勤として事務職員1名を採用した。新規採用した職員に対して、マナー・コミュニケーション研修(4月)と振り返り研修(10月)を実施した。 ・ 事務局職員研修体系に基づき、対象者15名がオンライン研修を受講した。(一人あたり2講座を受講) ・ 事務局チーフ以上の職員に対して、個人情報保護に関するeラーニング研修を実施し、25名が受講した。		IV	DPCコーディング業務を職員によって行った実績と評価

項目 No.	中期計画の取組項目	R.3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由												
21	※ コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底 1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底	1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底 <ul style="list-style-type: none"> ハラスメント対策として院内広報誌「土岐川のしらべ」を隔週で発行した。 服務規律を中心としたWebによるコンプライアンス研修を実施した。 全職員に対して、コンプライアンス研修をeラーニングで実施した。(アンケート回答数:892) 監事監査や内部監査による確認指導で適宜業務の体制を見直すことによって、適正な業務の執行を維持した。 <p>【コンプライアンス研修開催実績】 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>講師・演題等</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3.4.1</td> <td>人事厚生課長 小栗丈彦 『服務と倫理』</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>R3.7</td> <td>eラーニング 『改正個人情報保護法について』</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>R3.10~11</td> <td>職員相談室 阿部栄治 『職員に求められる服務規律』 システム管理室長 金子浩久 『情報セキュリティについて』</td> <td>892</td> </tr> </tbody> </table>	開催期間	講師・演題等	参加者	R3.4.1	人事厚生課長 小栗丈彦 『服務と倫理』	50	R3.7	eラーニング 『改正個人情報保護法について』	88	R3.10~11	職員相談室 阿部栄治 『職員に求められる服務規律』 システム管理室長 金子浩久 『情報セキュリティについて』	892		IV	コンプライアンス研修の参加者が大幅に増加した実績を評価
開催期間	講師・演題等	参加者															
R3.4.1	人事厚生課長 小栗丈彦 『服務と倫理』	50															
R3.7	eラーニング 『改正個人情報保護法について』	88															
R3.10~11	職員相談室 阿部栄治 『職員に求められる服務規律』 システム管理室長 金子浩久 『情報セキュリティについて』	892															
22	※ 適切な情報管理 1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 2 情報セキュリティに対する意識向上		1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 <ul style="list-style-type: none"> 国内でマルウェアの被害が複数あったことを受け、医療総合情報システムへファイアウォール経由でアクセスするベンダーに対し、IDやパスワードなどの接続設定方法をリセットした。 事務系(一般系)端末においては一部でセキュリティに対する認識の低い傾向があったため、関連通知を周知した。さらにネットワーク関連では一部で、委託業務に関するセキュリティの認識不足が見られたため、改善を依頼した。 仮想サーバーにおいても一部不具合があり、必要なアップデートなどの対策を行った。 12月15日に、当院において多治見警察署がサイバー防犯講話を主催し、約20名が参加した。(病院を対象とした防犯講話としては県警で初) 	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
			2 情報セキュリティに対する意識向上 <ul style="list-style-type: none"> 全職員に対して、情報セキュリティについての研修を実施した。(令和3年11月) コンプライアンス研修の一つとして位置づけし、パワーポイントによる20分の講演を実施した。また、グループウェア掲示板に必要な掲示を行った。 		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。 ※ 収入の確保 病床利用率など収入確保につながる数値目標を設定し、地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、その達成を図ること。 また、未収金の発生防止や早期回収等により、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。 ※ 費用の削減 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。 				
------	---	--	--	--	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
23	※ 多様な契約手法の導入 1 調達効率化及び適正な契約事務の実施		1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施 <ul style="list-style-type: none"> 診療材料については、令和4年度からの共同購入に向けて、事業者と業務支援の契約を締結した。これにより、請求事務の一本化及び診療材料費の削減を図ることとした。 高額医療機器については、見積時にメンテナンス費用、移設費用の見積を合わせて取得し、総合的に対象機種を選定を行った。また、複数メーカーによる競争を促し、適正な価格で購入 	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																									
			<p>できるよう入札等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> MRP ベンチマークを利用し、対象機器の他施設での納入価格を参考に、メーカーとの価格交渉を行った。 令和4年度のWTO案件の入札については、規程を遵守した。 																																																																																																																											
24	<p>※ 収入の確保</p> <p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p> <p>2 未収金の発生防止対策等</p> <p>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p>	<p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域内外の病院や診療所など 109 ヶ所程と情報交換を進め、退院調整を行った。入院前支援も積極的に行い、退院調整も早期から関わることにより、DPC II の期間越えの入院患者数は累計で前年度より 12%減少した。 消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、外科、整形外科、泌尿器科の 8 診療科について外部業者の支援を受けながら、試行的に原価計算を実施した。 地域医療連携センター（前方連携・後方連携）による開業医への訪問活動を実施。診療科の医師も同行し、紹介患者獲得に向けて活動した。 <p>【病床管理状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者(単位:人)</td> <td>13,886</td> <td>14,498</td> <td>14,781</td> <td>14,654</td> </tr> <tr> <td>延入院患者(単位:人)</td> <td>172,398</td> <td>176,770</td> <td>167,723</td> <td>165,889</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平均在院日数(単位:日)</td> <td>全体</td> <td>11.4</td> <td>11.2</td> <td>10.4</td> <td>10.3</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>10.8</td> <td>10.6</td> <td>9.9</td> <td>9.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一人当たり入院単価(単位:円)</td> <td>全体</td> <td>65,152</td> <td>66,161</td> <td>71,328</td> <td>71,960</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>67,672</td> <td>68,689</td> <td>73,681</td> <td>74,227</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者(単位:人)</td> <td>13,123</td> <td>13,966</td> </tr> <tr> <td>延入院患者(単位:人)</td> <td>148,961</td> <td>159,465</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平均在院日数(単位:日)</td> <td>全体</td> <td>10.4</td> <td>10.4</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>10.1</td> <td>10.2</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H28	H29	H30	R1	新規入院患者(単位:人)	13,886	14,498	14,781	14,654	延入院患者(単位:人)	172,398	176,770	167,723	165,889	平均在院日数(単位:日)	全体	11.4	11.2	10.4	10.3	一般	10.8	10.6	9.9	9.9	一人当たり入院単価(単位:円)	全体	65,152	66,161	71,328	71,960	一般	67,672	68,689	73,681	74,227	項目\年度	R2	R3	新規入院患者(単位:人)	13,123	13,966	延入院患者(単位:人)	148,961	159,465	平均在院日数(単位:日)	全体	10.4	10.4	一般	10.1	10.2	<p>2 未収金の発生防止対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談担当と医事担当で連携を図り、診療の初期段階から患者の状況に応じた制度の適用等について積極的に介入する等、未収金発生の未然防止に取り組んだ。 令和3年度の未収金額は 22,152,000 円であり、前年度と比較して 1,412,000 円減少した。 未収金が発生した際には、分納誓約等を締結し、定期的に入金させるとともに、督促電話等を積極的に行った。 <p>【未収金の発生状況】 (各年度末時点※)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> <tr> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>422</td> <td>29,625</td> <td>315</td> <td>30,815</td> <td>279</td> <td>26,132</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>582</td> <td>22,760</td> <td>487</td> <td>22,584</td> <td>314</td> <td>19,910</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,004</td> <td>52,385</td> <td>802</td> <td>53,399</td> <td>593</td> <td>46,042</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>281</td> <td>21,386</td> <td>317</td> <td>22,013</td> <td>329</td> <td>26,200</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>511</td> <td>22,485</td> <td>518</td> <td>23,564</td> <td>574</td> <td>22,152</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>792</td> <td>43,871</td> <td>835</td> <td>45,577</td> <td>903</td> <td>48,352</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> DPC 特定機能病院や総合入院体制加算 I を維持した。診療報酬委員会においては、外部コンサルによる分析結果の周知、提案を行った。 2022 年度診療報酬改定の情報収集や、院内への周知、施設基 		H28		H29		H30		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	過年分	422	29,625	315	30,815	279	26,132	現年分	582	22,760	487	22,584	314	19,910	合計	1,004	52,385	802	53,399	593	46,042		R1		R2		R3		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	過年分	281	21,386	317	22,013	329	26,200	現年分	511	22,485	518	23,564	574	22,152	合計	792	43,871	835	45,577	903	48,352	IV	他機関との情報交換による効果的な退院調整、及び試行的な原価計算を行った実績を評価
項目\年度	H28	H29	H30	R1																																																																																																																										
新規入院患者(単位:人)	13,886	14,498	14,781	14,654																																																																																																																										
延入院患者(単位:人)	172,398	176,770	167,723	165,889																																																																																																																										
平均在院日数(単位:日)	全体	11.4	11.2	10.4	10.3																																																																																																																									
	一般	10.8	10.6	9.9	9.9																																																																																																																									
一人当たり入院単価(単位:円)	全体	65,152	66,161	71,328	71,960																																																																																																																									
	一般	67,672	68,689	73,681	74,227																																																																																																																									
項目\年度	R2	R3																																																																																																																												
新規入院患者(単位:人)	13,123	13,966																																																																																																																												
延入院患者(単位:人)	148,961	159,465																																																																																																																												
平均在院日数(単位:日)	全体	10.4	10.4																																																																																																																											
	一般	10.1	10.2																																																																																																																											
	H28		H29		H30																																																																																																																									
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)																																																																																																																								
過年分	422	29,625	315	30,815	279	26,132																																																																																																																								
現年分	582	22,760	487	22,584	314	19,910																																																																																																																								
合計	1,004	52,385	802	53,399	593	46,042																																																																																																																								
	R1		R2		R3																																																																																																																									
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)																																																																																																																								
過年分	281	21,386	317	22,013	329	26,200																																																																																																																								
現年分	511	22,485	518	23,564	574	22,152																																																																																																																								
合計	792	43,871	835	45,577	903	48,352																																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況				その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																							
		一人当たり入院単価 (単位:円)	全体	76,556	78,220	<p>準の届出等を行い、加算要件等に注意しながら各部門と調整した。</p>																																									
			一般	78,616	79,931																																										
		(参考)																																													
		項目\年度	H28	H29	H30				R1																																						
		一日当たり外来患者数 (単位:人)	1,119	1,115	1,139	1,128																																									
		一人当たり外来単価 (単位:円)	16,990	17,575	18,207	19,638																																									
		項目\年度	R2	R3																																											
		一日当たり外来患者数 (単位:人)	1,015	1,068																																											
		一人当たり外来単価 (単位:円)	21,851	21,346																																											
25	<p>※ 費用の削減</p> <p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底</p> <p>2 後発医薬品の使用促進</p>					<p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 価格交渉により、医薬品は36,000万円、検査試薬は160万円の費用減額となった。 <p>【医薬収益に対する材料費比率】 単位: %</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>15.91</td> <td>16.11</td> <td>17.77</td> <td>18.5</td> <td>18.5</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>10.34</td> <td>11.09</td> <td>10.73</td> <td>10.9</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>材料費全体</td> <td>26.32</td> <td>27.26</td> <td>28.58</td> <td>29.5</td> <td>29.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【薬品費及び診療材料費】 単位:千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>2,619,397</td> <td>2,689,702</td> <td>2,812,655</td> <td>3,153,092</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,582,848</td> <td>1,747,406</td> <td>1,935,321</td> <td>1,903,765</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	薬品費	15.91	16.11	17.77	18.5	18.5	診療材料費	10.34	11.09	10.73	10.9	11.1	材料費全体	26.32	27.26	28.58	29.5	29.8	区分\年度	H28	H29	H30	R1	薬品費	2,619,397	2,689,702	2,812,655	3,153,092	診療材料費	1,582,848	1,747,406	1,935,321	1,903,765	III	<p>医薬品・材料費の節減等、継続的な取組が実施できているが、材料費比率の改善には繋がっておらず、平年並みの実績と評価</p>
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																										
薬品費	15.91	16.11	17.77	18.5	18.5																																										
診療材料費	10.34	11.09	10.73	10.9	11.1																																										
材料費全体	26.32	27.26	28.58	29.5	29.8																																										
区分\年度	H28	H29	H30	R1																																											
薬品費	2,619,397	2,689,702	2,812,655	3,153,092																																											
診療材料費	1,582,848	1,747,406	1,935,321	1,903,765																																											

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由	
			区分\年度	R2	R3			
			区分\年度	R2	R3			
			薬品費	3,142,369	3,410,882			
			診療材料費	1,850,991	2,048,555			
			2 後発医薬品の使用促進 ・ 年度平均で後発医薬品の使用率は90.63%となり、後発医薬品使用体制加算1となる使用率の85%以上を維持した。					
			【後発医薬品（ジェネリック）の使用比率】 単位：％					
			区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3
			数量ベース	93.05	88.11	91.89	89.89	90.63

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期目標	※ 経常収支比率等 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率100%以上を達成すること。 医業収支比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。
------	---

項目No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																												
26	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率100%以上、医業収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。		・ 薬品費、診療材料費の増により、経常収支比率99.5%となった。職員給与費対医業収益比率は目標の50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。 【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位：％ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>102.0</td> <td>100.2</td> <td>95.5</td> <td>97.1</td> <td>99.5</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>51.0</td> <td>52.5</td> <td>54.4</td> <td>58.0</td> <td>53.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	経常収支	102.0	100.2	95.5	97.1	99.5	職員給与費	51.0	52.5	54.4	58.0	53.0	II	3年連続の赤字を計上した。																																																										
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																												
経常収支	102.0	100.2	95.5	97.1	99.5																																																																												
職員給与費	51.0	52.5	54.4	58.0	53.0																																																																												
1	1 予算 (単位：百万円) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>19,206</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>17,391</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,273</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>542</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>86</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>21</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>65</td></tr> <tr><td> 資本収入</td><td>1,532</td></tr> <tr><td> 長期借入金</td><td>1,273</td></tr> <tr><td> 運営費負担金</td><td>242</td></tr> <tr><td> その他資本収入</td><td>17</td></tr> <tr><td> その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td> 計</td><td>20,824</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>18,360</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>17,671</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>9,376</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	19,206	医業収益	17,391	運営費負担金収益	1,273	その他営業収益	542	営業外収益	86	運営費負担金収益	21	その他営業外収益	65	資本収入	1,532	長期借入金	1,273	運営費負担金	242	その他資本収入	17	その他の収入	0	計	20,824	支出		営業費用	18,360	医業費用	17,671	給与費	9,376		1 決算 (単位：百万円) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>22,788</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>20,403</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,289</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>1,096</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>97</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>11</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>86</td></tr> <tr><td> 資本収入</td><td>1,185</td></tr> <tr><td> 長期借入金</td><td>836</td></tr> <tr><td> 運営費負担金</td><td>265</td></tr> <tr><td> その他資本収入</td><td>84</td></tr> <tr><td> その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td> 計</td><td>24,070</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>19,196</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>18,531</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>9,190</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	22,788	医業収益	20,403	運営費負担金収益	1,289	その他営業収益	1,096	営業外収益	97	運営費負担金収益	11	その他営業外収益	86	資本収入	1,185	長期借入金	836	運営費負担金	265	その他資本収入	84	その他の収入	0	計	24,070	支出		営業費用	19,196	医業費用	18,531	給与費	9,190		
区 分	金 額																																																																																
収入																																																																																	
営業収益	19,206																																																																																
医業収益	17,391																																																																																
運営費負担金収益	1,273																																																																																
その他営業収益	542																																																																																
営業外収益	86																																																																																
運営費負担金収益	21																																																																																
その他営業外収益	65																																																																																
資本収入	1,532																																																																																
長期借入金	1,273																																																																																
運営費負担金	242																																																																																
その他資本収入	17																																																																																
その他の収入	0																																																																																
計	20,824																																																																																
支出																																																																																	
営業費用	18,360																																																																																
医業費用	17,671																																																																																
給与費	9,376																																																																																
区 分	金 額																																																																																
収入																																																																																	
営業収益	22,788																																																																																
医業収益	20,403																																																																																
運営費負担金収益	1,289																																																																																
その他営業収益	1,096																																																																																
営業外収益	97																																																																																
運営費負担金収益	11																																																																																
その他営業外収益	86																																																																																
資本収入	1,185																																																																																
長期借入金	836																																																																																
運営費負担金	265																																																																																
その他資本収入	84																																																																																
その他の収入	0																																																																																
計	24,070																																																																																
支出																																																																																	
営業費用	19,196																																																																																
医業費用	18,531																																																																																
給与費	9,190																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																
	<table border="1"> <tr><td>材料費</td><td>5,289</td></tr> <tr><td>経費</td><td>2,948</td></tr> <tr><td>研究研修費</td><td>58</td></tr> <tr><td>一般管理費</td><td>689</td></tr> <tr><td>給与費</td><td>467</td></tr> <tr><td>経費</td><td>222</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>104</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>2,671</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>2,191</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>439</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>41</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>21,135</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	材料費	5,289	経費	2,948	研究研修費	58	一般管理費	689	給与費	467	経費	222	営業外費用	104	資本支出	2,671	建設改良費	2,191	償還金	439	その他資本支出	41	その他の支出	0	計	21,135		<table border="1"> <tr><td>材料費</td><td>6,027</td></tr> <tr><td>経費</td><td>3,280</td></tr> <tr><td>研究研修費</td><td>34</td></tr> <tr><td>一般管理費</td><td>665</td></tr> <tr><td>給与費</td><td>461</td></tr> <tr><td>経費</td><td>204</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>78</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>2,085</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>1,596</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>468</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>21</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>21,359</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	材料費	6,027	経費	3,280	研究研修費	34	一般管理費	665	給与費	461	経費	204	営業外費用	78	資本支出	2,085	建設改良費	1,596	償還金	468	その他資本支出	21	その他の支出	0	計	21,359																																														
材料費	5,289																																																																																																				
経費	2,948																																																																																																				
研究研修費	58																																																																																																				
一般管理費	689																																																																																																				
給与費	467																																																																																																				
経費	222																																																																																																				
営業外費用	104																																																																																																				
資本支出	2,671																																																																																																				
建設改良費	2,191																																																																																																				
償還金	439																																																																																																				
その他資本支出	41																																																																																																				
その他の支出	0																																																																																																				
計	21,135																																																																																																				
材料費	6,027																																																																																																				
経費	3,280																																																																																																				
研究研修費	34																																																																																																				
一般管理費	665																																																																																																				
給与費	461																																																																																																				
経費	204																																																																																																				
営業外費用	78																																																																																																				
資本支出	2,085																																																																																																				
建設改良費	1,596																																																																																																				
償還金	468																																																																																																				
その他資本支出	21																																																																																																				
その他の支出	0																																																																																																				
計	21,359																																																																																																				
	<p>2 収支計画</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>19,252</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>19,172</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>17,353</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,273</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>540</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>80</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>21</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>59</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>0</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>20,547</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>19,537</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>18,833</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>9,389</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,230</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,741</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>1,419</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>54</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>704</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>471</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>31</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>202</td></tr> <tr><td> 営業外費用</td><td>1,010</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	19,252	営業収益	19,172	医業収益	17,353	運営費負担金収益	1,273	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	540	営業外収益	80	運営費負担金収益	21	その他営業外収益	59	臨時利益	0	費用の部	20,547	営業費用	19,537	医業費用	18,833	給与費	9,389	材料費	5,230	経費	2,741	減価償却費	1,419	研究研修費	54	一般管理費	704	給与費	471	減価償却費	31	経費	202	営業外費用	1,010		<p>2 収支計画に対する実績</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>20,850</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>20,746</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>18,391</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,254</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>1,095</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>98</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>20</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>78</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>6</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>20,961</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>19,931</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>19,251</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>9,302</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,461</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>3,012</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>1,443</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>33</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>680</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>453</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>41</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>186</td></tr> <tr><td> 営業外費用</td><td>1,028</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	20,850	営業収益	20,746	医業収益	18,391	運営費負担金収益	1,254	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	1,095	営業外収益	98	運営費負担金収益	20	その他営業外収益	78	臨時利益	6	費用の部	20,961	営業費用	19,931	医業費用	19,251	給与費	9,302	材料費	5,461	経費	3,012	減価償却費	1,443	研究研修費	33	一般管理費	680	給与費	453	減価償却費	41	経費	186	営業外費用	1,028		
区 分	金 額																																																																																																				
収益の部	19,252																																																																																																				
営業収益	19,172																																																																																																				
医業収益	17,353																																																																																																				
運営費負担金収益	1,273																																																																																																				
資産見返負債戻入	6																																																																																																				
その他営業収益	540																																																																																																				
営業外収益	80																																																																																																				
運営費負担金収益	21																																																																																																				
その他営業外収益	59																																																																																																				
臨時利益	0																																																																																																				
費用の部	20,547																																																																																																				
営業費用	19,537																																																																																																				
医業費用	18,833																																																																																																				
給与費	9,389																																																																																																				
材料費	5,230																																																																																																				
経費	2,741																																																																																																				
減価償却費	1,419																																																																																																				
研究研修費	54																																																																																																				
一般管理費	704																																																																																																				
給与費	471																																																																																																				
減価償却費	31																																																																																																				
経費	202																																																																																																				
営業外費用	1,010																																																																																																				
区 分	金 額																																																																																																				
収益の部	20,850																																																																																																				
営業収益	20,746																																																																																																				
医業収益	18,391																																																																																																				
運営費負担金収益	1,254																																																																																																				
資産見返負債戻入	6																																																																																																				
その他営業収益	1,095																																																																																																				
営業外収益	98																																																																																																				
運営費負担金収益	20																																																																																																				
その他営業外収益	78																																																																																																				
臨時利益	6																																																																																																				
費用の部	20,961																																																																																																				
営業費用	19,931																																																																																																				
医業費用	19,251																																																																																																				
給与費	9,302																																																																																																				
材料費	5,461																																																																																																				
経費	3,012																																																																																																				
減価償却費	1,443																																																																																																				
研究研修費	33																																																																																																				
一般管理費	680																																																																																																				
給与費	453																																																																																																				
減価償却費	41																																																																																																				
経費	186																																																																																																				
営業外費用	1,028																																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																								
	<table border="1"> <tr><td>臨時損失</td><td>0</td></tr> <tr><td>予備費</td><td>0</td></tr> <tr><td>純損失</td><td>▲1,295</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総損失</td><td>▲1,295</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	臨時損失	0	予備費	0	純損失	▲1,295	目的積立金取崩額	0	総損失	▲1,295		<table border="1"> <tr><td>臨時損失</td><td>2</td></tr> <tr><td>予備費</td><td>0</td></tr> <tr><td>純損失</td><td>▲111</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総損失</td><td>▲111</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	臨時損失	2	予備費	0	純損失	▲111	目的積立金取崩額	0	総損失	▲111																																																																																						
臨時損失	0																																																																																																												
予備費	0																																																																																																												
純損失	▲1,295																																																																																																												
目的積立金取崩額	0																																																																																																												
総損失	▲1,295																																																																																																												
臨時損失	2																																																																																																												
予備費	0																																																																																																												
純損失	▲111																																																																																																												
目的積立金取崩額	0																																																																																																												
総損失	▲111																																																																																																												
	<p>3 資金計画</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>29,562</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>19,291</td></tr> <tr><td>診療業務による収入</td><td>17,391</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>1,294</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>606</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>92</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>76</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>16</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>1,439</td></tr> <tr><td>長期借入による収入</td><td>1,273</td></tr> <tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>166</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>8,740</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>29,562</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>18,500</td></tr> <tr><td>給与費支出</td><td>8,269</td></tr> <tr><td>材料費支出</td><td>5,289</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>4,942</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>2,232</td></tr> <tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>2,191</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>41</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>439</td></tr> <tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>329</td></tr> <tr><td>移前地方債償還義務の償還による支出</td><td>90</td></tr> <tr><td>その他財務活動による支出</td><td>20</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>8,391</td></tr> </tbody> </table> <p>(注記 略)</p>	区 分	金 額	資金収入	29,562	業務活動による収入	19,291	診療業務による収入	17,391	運営費負担金による収入	1,294	その他の業務活動による収入	606	投資活動による収入	92	運営費負担金による収入	76	その他の投資活動による収入	16	財務活動による収入	1,439	長期借入による収入	1,273	その他の財務活動による収入	166	前事業年度からの繰越金	8,740	資金支出	29,562	業務活動による支出	18,500	給与費支出	8,269	材料費支出	5,289	その他の業務活動による支出	4,942	投資活動による支出	2,232	有形固定資産の取得による支出	2,191	その他の投資活動による支出	41	財務活動による支出	439	長期借入金の返済による支出	329	移前地方債償還義務の償還による支出	90	その他財務活動による支出	20	翌事業年度への繰越金	8,391		<p>3 資金計画に対する実績</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>31,961</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>21,196</td></tr> <tr><td>診療業務による収入</td><td>18,513</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>1,275</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>1,408</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>149</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>38</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>111</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>1,063</td></tr> <tr><td>長期借入による収入</td><td>836</td></tr> <tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>227</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>9,553</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>31,961</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>19,768</td></tr> <tr><td>給与費支出</td><td>7,951</td></tr> <tr><td>材料費支出</td><td>6,054</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>5,763</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>1,277</td></tr> <tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>1,252</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>25</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>468</td></tr> <tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>358</td></tr> <tr><td>移前地方債償還義務の償還による支出</td><td>90</td></tr> <tr><td>その他財務活動による支出</td><td>20</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>10,448</td></tr> </tbody> </table> <p>(注記 略)</p>	区 分	金 額	資金収入	31,961	業務活動による収入	21,196	診療業務による収入	18,513	運営費負担金による収入	1,275	その他の業務活動による収入	1,408	投資活動による収入	149	運営費負担金による収入	38	その他の投資活動による収入	111	財務活動による収入	1,063	長期借入による収入	836	その他の財務活動による収入	227	前事業年度からの繰越金	9,553	資金支出	31,961	業務活動による支出	19,768	給与費支出	7,951	材料費支出	6,054	その他の業務活動による支出	5,763	投資活動による支出	1,277	有形固定資産の取得による支出	1,252	その他の投資活動による支出	25	財務活動による支出	468	長期借入金の返済による支出	358	移前地方債償還義務の償還による支出	90	その他財務活動による支出	20	翌事業年度への繰越金	10,448		
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	29,562																																																																																																												
業務活動による収入	19,291																																																																																																												
診療業務による収入	17,391																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,294																																																																																																												
その他の業務活動による収入	606																																																																																																												
投資活動による収入	92																																																																																																												
運営費負担金による収入	76																																																																																																												
その他の投資活動による収入	16																																																																																																												
財務活動による収入	1,439																																																																																																												
長期借入による収入	1,273																																																																																																												
その他の財務活動による収入	166																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	8,740																																																																																																												
資金支出	29,562																																																																																																												
業務活動による支出	18,500																																																																																																												
給与費支出	8,269																																																																																																												
材料費支出	5,289																																																																																																												
その他の業務活動による支出	4,942																																																																																																												
投資活動による支出	2,232																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	2,191																																																																																																												
その他の投資活動による支出	41																																																																																																												
財務活動による支出	439																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	329																																																																																																												
移前地方債償還義務の償還による支出	90																																																																																																												
その他財務活動による支出	20																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	8,391																																																																																																												
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	31,961																																																																																																												
業務活動による収入	21,196																																																																																																												
診療業務による収入	18,513																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,275																																																																																																												
その他の業務活動による収入	1,408																																																																																																												
投資活動による収入	149																																																																																																												
運営費負担金による収入	38																																																																																																												
その他の投資活動による収入	111																																																																																																												
財務活動による収入	1,063																																																																																																												
長期借入による収入	836																																																																																																												
その他の財務活動による収入	227																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	9,553																																																																																																												
資金支出	31,961																																																																																																												
業務活動による支出	19,768																																																																																																												
給与費支出	7,951																																																																																																												
材料費支出	6,054																																																																																																												
その他の業務活動による支出	5,763																																																																																																												
投資活動による支出	1,277																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	1,252																																																																																																												
その他の投資活動による支出	25																																																																																																												
財務活動による支出	468																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	358																																																																																																												
移前地方債償還義務の償還による支出	90																																																																																																												
その他財務活動による支出	20																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	10,448																																																																																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
—	※ 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理由		1 限度額 ・ 10億円 2 想定される短期借入金の発生理由 ・ 実績なし	—	

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
—	※ 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画		・ 該当なし	—	

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
—	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画		・ 該当なし	—	

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
—	※ 剰余金の使途		・該当なし	—	

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期目標	8-1 職員の勤務環境の向上	働き方改革を実現するため、労務管理を適正に行うとともに、医療従事者等職員の必要数確保、柔軟な勤務形態の導入、育児支援体制の充実など、職員の勤務環境の改善に取り組むこと。 特に、医師の業務負担軽減や労働時間短縮のため、タスク・シフティング（業務の移管）の推進等国の指針に基づいた取組を着実に実施すること。 また、職員の意見が反映される仕組みの充実を図り、病院で働く全ての職員が誇りを持って職責が果たせるよう、やりがいの創出に努めること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	医師の診療応援や人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	新中央診療棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案し、岐阜県立多治見病院として担うべき機能の強化が図られるよう、計画的に実施すること。
	8-4 内部統制の充実強化	内部統制の充実強化を図るため、内部監査のほかモニタリングの結果を、リスクの評価・対応や法人の規程に適切に反映させるなど、内部統制の取組を着実に推進すること。 また、危機管理事案等発生時には、理事長のリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応すること。
	8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実にすること。

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																		
27	※ 職員の就労環境の向上 1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 2 働き方改革の実現に向けた取組 3 職員のモチベーション向上に資する取組	2 働き方改革の実現に向けた取組 ・ 院長・副院長による働き方改革会議において、病院全体及び一人一人の時間外勤務の状況を把握し、長時間労働該当者及び年休取得5日未満該当者が存在した場合は、所属への注意喚起を行った。 ・ 顔認証・自動検温システムを導入し、勤怠管理システムとの連動に向けて業者等と打ち合わせを重ね、運用構築に向けて準備を進めた。 ・ 医師クラークについて、各診療科のフォロー体制の充実に向け人員配置を見直し、グループ制を導入した。 ・ 前期定期健康診断とあわせて、「ストレスチェック」を全職員対象に実施した。(受検率94.0%) ・ 定期健康診断の受診率は100% (856人/856人) であり、要精	1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 ・ 職員募集や再雇用制度の活用により職員数を確保し、就労環境の向上に努めた。 ・ 定期的に院内広報誌「土岐川のしらべ」を発行し、相談機能の充実に努めた。 【有給休暇取得率】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次休暇</td> <td>25.9</td> <td>25.5</td> <td>44.4</td> <td>43.9</td> <td>40.1</td> </tr> <tr> <td>特別休暇</td> <td>83.9</td> <td>90.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> ※R1年度に特別休暇(WLB休暇)を年次休暇に加算	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	年次休暇	25.9	25.5	44.4	43.9	40.1	特別休暇	83.9	90.4	-	-	-	IV	育児部分休業等の利用者増加、看護職員処遇改善手当の新設など、就労環境の向上に向けた取り組みを評価
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																		
年次休暇	25.9	25.5	44.4	43.9	40.1																		
特別休暇	83.9	90.4	-	-	-																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																														
		<p>密検査等の指示のあった職員へのフォローも実施した。</p> <p>【メンタルヘルスケア相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>【メンタルヘルス講習会参加者数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92</td> <td>117</td> <td>110</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。</p> <p>【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>29</td> <td>35</td> <td>32</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 職員のモチベーション向上に資する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標管理と連動し、公正で客観的な人事評価制度の円滑な運用に努めた。 新型コロナウイルス感染症対策業務手当・作業手当、後方施設勤務手当の支給を継続し、モチベーション維持に努めた。 国の補助金制度を利用して看護職員処遇改善手当を新設し、看護職員のモチベーション維持に努めた。 食堂については職員満足度アンケートを行い、職員のニーズの把握に努めた。 独立行政法人化した年度より実施している、院長と医師全員との面談において、医師の目標を明確化するとともに、医師からの要望を把握した。 専門医等の医師増員を受け、医局の分室を整備して、環境の配慮を行った。 	H29	H30	R1	R2	R3	15	13	7	8	9	H29	H30	R1	R2	R3	92	117	110	—	—	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	利用者数	29	35	32	39	40	55	<p>【医師・看護師事務作業補助者数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者（医療クラーク）</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>37</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者（看護クラーク）</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>61</td> <td>55</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	医師事務作業補助者（医療クラーク）	37	37	38	42	37	36	病棟事務補助者（看護クラーク）	11	16	16	19	18	18	合計	48	53	54	61	55	54		
H29	H30	R1	R2	R3																																																															
15	13	7	8	9																																																															
H29	H30	R1	R2	R3																																																															
92	117	110	—	—																																																															
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																													
利用者数	29	35	32	39	40	55																																																													
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																													
医師事務作業補助者（医療クラーク）	37	37	38	42	37	36																																																													
病棟事務補助者（看護クラーク）	11	16	16	19	18	18																																																													
合計	48	53	54	61	55	54																																																													
28	※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項		<p>1 県との連携・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県立多治見看護専門学校に対して、病院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し、同校との連携の強化に努めた。 	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																			
	1 県との連携・強化 2 他の地方独立行政法人との連携・強化		<ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟の整備について岐阜県と緊密に連携し、指導助言を受けながら、適時適切に工事を発注することができた。 2 他の地方独立行政法人との連携・強化 <ul style="list-style-type: none"> 下呂温泉病院より医師2名、総合医療センターより看護師2名を採用した。 																																																																					
29	※ 施設・医療機器の整備に関する事項 1 新中央診療棟などの施設の計画的な整備 2 医療機器の計画的な更新・整備	1 新中央診療棟などの施設の計画的な整備 <ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟整備第一期工事について、建築工事、電気設備工事、空調設備工事、衛生設備工事、エレベーター設備工事の5工種で競争入札の上、それぞれ施工業者を決定した。令和3年9月に工事着工することができた。先行して既存棟(東病棟)の一部先行改修工事を施工した。 東側立体駐車場が令和3年5月末に完成し、6月から運用を開始した。また、病院前市道整備については、病院入口交差点から南へ部分的に歩道を整備した。 2 医療機器の計画的な更新・整備 <ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器について、院内の各部門とヒアリングを実施し、購入計画、資金計画を策定した。 過剰な整備とならないよう、現場を熟知しているCEと連携し、機器整備の必要性・妥当性を確認したうえで購入機器を決定した。複数診療科による医療機器の共同利用を推進することで、現有機器の有効活用を図った。 新型コロナ緊急支援交付金を活用し、必要な医療機器の整備を行った。 (単位：百万円) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">新 棟 建 設</td> <td>建築工事</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>電気設備工事</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>空調設備工事</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>衛生設備工事</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>エレベーター設備</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>工事監理</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>730</td> </tr> <tr> <td>医療機器等整備</td> <td>177</td> <td>183</td> <td>260</td> <td>562</td> <td>358</td> </tr> <tr> <td>施設等整備</td> <td>38</td> <td>306</td> <td>115</td> <td>101</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>215</td> <td>489</td> <td>375</td> <td>663</td> <td>1,188</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H29	H30	R1	R2	R3	新 棟 建 設	建築工事	—	—	—	—	700	電気設備工事	—	—	—	—	0	空調設備工事	—	—	—	—	0	衛生設備工事	—	—	—	—	0	エレベーター設備	—	—	—	—	0	工事監理	—	—	—	—	30	小計	—	—	—	—	730	医療機器等整備	177	183	260	562	358	施設等整備	38	306	115	101	100	合計	215	489	375	663	1,188		IV	新中央診療棟の建設及び医療機器の更新・整備に向け、着実に進展していることを評価。
区分	H29	H30	R1	R2	R3																																																																			
新 棟 建 設	建築工事	—	—	—	—	700																																																																		
	電気設備工事	—	—	—	—	0																																																																		
	空調設備工事	—	—	—	—	0																																																																		
	衛生設備工事	—	—	—	—	0																																																																		
	エレベーター設備	—	—	—	—	0																																																																		
	工事監理	—	—	—	—	30																																																																		
	小計	—	—	—	—	730																																																																		
医療機器等整備	177	183	260	562	358																																																																			
施設等整備	38	306	115	101	100																																																																			
合計	215	489	375	663	1,188																																																																			
30	※ 内部統制の充実強化	1 内部統制の取組	2 内部統制に対する監査及び評価	III	継続的な取組が実施																																																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	R 3 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																												
	1 内部統制の取組 2 内部統制に対する監査及び評価 3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> 購買プロセスと給与支払いプロセスにかかるリスク評価を行った。 業務方法書に定める内部統制に係る体制の整備のため R4. 4. 1 付で下記の規則を制定した。 『反社会的勢力への対応に関する規則』 『法人情報の Web 公開に関する規則』 『コンプライアンスの推進に関する規則』 『内部通報及び外部通報に関する規則』 	<ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年 3 月 28 日にリスク管理委員会を、令和 4 年 3 月 29 日に内部統制委員会を開催し、リスク分析・評価等内部統制の取組状況、及び令和 4 年度における取組の予定について説明した。 3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化 訓練を通じて判明した課題を解決するため、災害時情報収集システムの改修検討に着手した。 		できているが、平年並みの実績と評価																												
31	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		<ul style="list-style-type: none"> 法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行った。 <p>【企業債償還額（元本）】（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>償還月</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9 月</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>3 月</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>448</td> </tr> </tbody> </table> <p>【債務の償還状況（合計）】（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 期中期計画期間計</td> <td>3,603</td> </tr> <tr> <td>第 2 期中期計画期間計</td> <td>2,634</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>527</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>448</td> </tr> </tbody> </table> <p>(内訳) 移行前地方債償還債務（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 期中期計画期間計</td> <td>3,211</td> </tr> <tr> <td>第 2 期中期計画期間計</td> <td>1,485</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> <p>長期借入金償還額（単位：百万円）</p>	償還月	金額	9 月	224	3 月	224	計	448	年度	実績	第 1 期中期計画期間計	3,603	第 2 期中期計画期間計	2,634	R 2	527	R 3	448	年度	実績	第 1 期中期計画期間計	3,211	第 2 期中期計画期間計	1,485	R 2	360	R 3	90	Ⅲ	償還計画に則って償還できている。
償還月	金額																																
9 月	224																																
3 月	224																																
計	448																																
年度	実績																																
第 1 期中期計画期間計	3,603																																
第 2 期中期計画期間計	2,634																																
R 2	527																																
R 3	448																																
年度	実績																																
第 1 期中期計画期間計	3,211																																
第 2 期中期計画期間計	1,485																																
R 2	360																																
R 3	90																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)		自己 評価	自己評価理由																																							
			年度	実績																																									
			第1期中期計画期間計	392																																									
			第2期中期計画期間計	1,149																																									
			R2	167																																									
			R3	358																																									
32	※ 中期目標の期間における 主な計画数値	令和3年度計画における主な計画数値 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な目標・計画</th> <th>年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立体駐車場を建設し供用開始 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備</td> <td>6月に供用開始 8月に建設工事を契約 9月に建設着工</td> </tr> <tr> <td>入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)</td> <td>新規入院 40人 外来 1,080人</td> </tr> <tr> <td>手術件数(年間)</td> <td>手術室 4,900件 中央放射線・内視鏡 2,900件</td> </tr> <tr> <td>高精度放射線治療患者数(年間)</td> <td>470人</td> </tr> <tr> <td>DPC病床での入院期間I・II 以内の退院患者比率(年間)</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(全病床・年間)</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>紹介率・逆紹介率(年間)</td> <td>紹介率 80.0% 逆紹介率 95.0%</td> </tr> <tr> <td>患者満足度(調査期間)</td> <td>外来 90.0% 入院 97.0%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品使用率(数量ベース)</td> <td>92.0%</td> </tr> </tbody> </table>	主な目標・計画	年度目標	立体駐車場を建設し供用開始 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備	6月に供用開始 8月に建設工事を契約 9月に建設着工	入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)	新規入院 40人 外来 1,080人	手術件数(年間)	手術室 4,900件 中央放射線・内視鏡 2,900件	高精度放射線治療患者数(年間)	470人	DPC病床での入院期間I・II 以内の退院患者比率(年間)	80.0%	病床利用率(全病床・年間)	80.0%	紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 80.0% 逆紹介率 95.0%	患者満足度(調査期間)	外来 90.0% 入院 97.0%	後発医薬品使用率(数量ベース)	92.0%	左記計画数値に対する実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な目標・計画</th> <th>年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立体駐車場を建設し供用開始 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備</td> <td>6月に供用開始 8月に建設工事を契約 9月に建設着工</td> </tr> <tr> <td>入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)</td> <td>新規入院 37.5人 外来 1,068人</td> </tr> <tr> <td>手術件数(年間)</td> <td>手術室 4,491件 中央放射線・内視鏡 3,222件</td> </tr> <tr> <td>高精度放射線治療患者数(年間)</td> <td>441人</td> </tr> <tr> <td>DPC病床での入院期間I・II 以内の退院患者比率(年間)</td> <td>78.6%</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(全病床・年間)</td> <td>76.6%</td> </tr> <tr> <td>紹介率・逆紹介率(年間)</td> <td>紹介率 72.8% 逆紹介率 97.4%</td> </tr> <tr> <td>患者満足度(調査期間)</td> <td>外来 85.3% 入院 95.9%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品使用率(数量ベース)</td> <td>90.63%</td> </tr> </tbody> </table>	主な目標・計画	年度目標	立体駐車場を建設し供用開始 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備	6月に供用開始 8月に建設工事を契約 9月に建設着工	入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)	新規入院 37.5人 外来 1,068人	手術件数(年間)	手術室 4,491件 中央放射線・内視鏡 3,222件	高精度放射線治療患者数(年間)	441人	DPC病床での入院期間I・II 以内の退院患者比率(年間)	78.6%	病床利用率(全病床・年間)	76.6%	紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 72.8% 逆紹介率 97.4%	患者満足度(調査期間)	外来 85.3% 入院 95.9%	後発医薬品使用率(数量ベース)	90.63%	III	達成された目標がある一方で、未達成となった項目も多く存在した。
主な目標・計画	年度目標																																												
立体駐車場を建設し供用開始 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備	6月に供用開始 8月に建設工事を契約 9月に建設着工																																												
入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)	新規入院 40人 外来 1,080人																																												
手術件数(年間)	手術室 4,900件 中央放射線・内視鏡 2,900件																																												
高精度放射線治療患者数(年間)	470人																																												
DPC病床での入院期間I・II 以内の退院患者比率(年間)	80.0%																																												
病床利用率(全病床・年間)	80.0%																																												
紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 80.0% 逆紹介率 95.0%																																												
患者満足度(調査期間)	外来 90.0% 入院 97.0%																																												
後発医薬品使用率(数量ベース)	92.0%																																												
主な目標・計画	年度目標																																												
立体駐車場を建設し供用開始 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備	6月に供用開始 8月に建設工事を契約 9月に建設着工																																												
入院患者数(1日平均) 外来患者数(1日平均)	新規入院 37.5人 外来 1,068人																																												
手術件数(年間)	手術室 4,491件 中央放射線・内視鏡 3,222件																																												
高精度放射線治療患者数(年間)	441人																																												
DPC病床での入院期間I・II 以内の退院患者比率(年間)	78.6%																																												
病床利用率(全病床・年間)	76.6%																																												
紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 72.8% 逆紹介率 97.4%																																												
患者満足度(調査期間)	外来 85.3% 入院 95.9%																																												
後発医薬品使用率(数量ベース)	90.63%																																												
33	※ 積立金の使途		・ 前期中期目標期間における積立金については、今後発生する病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。		III	計画に則って資金留																																							

項目 No.	中期計画の取組項目	R3年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
					保できている。

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況